

フリーターの意識・就労実態調査（2020年）

調査概要

調査対象

15～44歳の男性は既卒、女性は既卒かつ未婚のうち、
パート・アルバイトとして働いている人または非就労者のうち希望する雇用形態が「アルバイト・パート」の人

調査期間

スクリーニング調査：2020年6月29日（月）～2020年7月1日（水）／本調査：2020年7月3日（金）～2020年7月6日（月）

調査方法

外部パネルによるWEBアンケート調査

有効回答数

1,670名

調査結果は、端数四捨五入の都合により合計が100％にならない場合があります。



本資料に掲載のデータ、図版等の無断転載を禁じます。資料のご利用やご質問等に関しては下記までご連絡ください。
株式会社マイナビ 社長室 HRリサーチ部 アルバイトリサーチチーム E mail : myArm@mynavi.jp

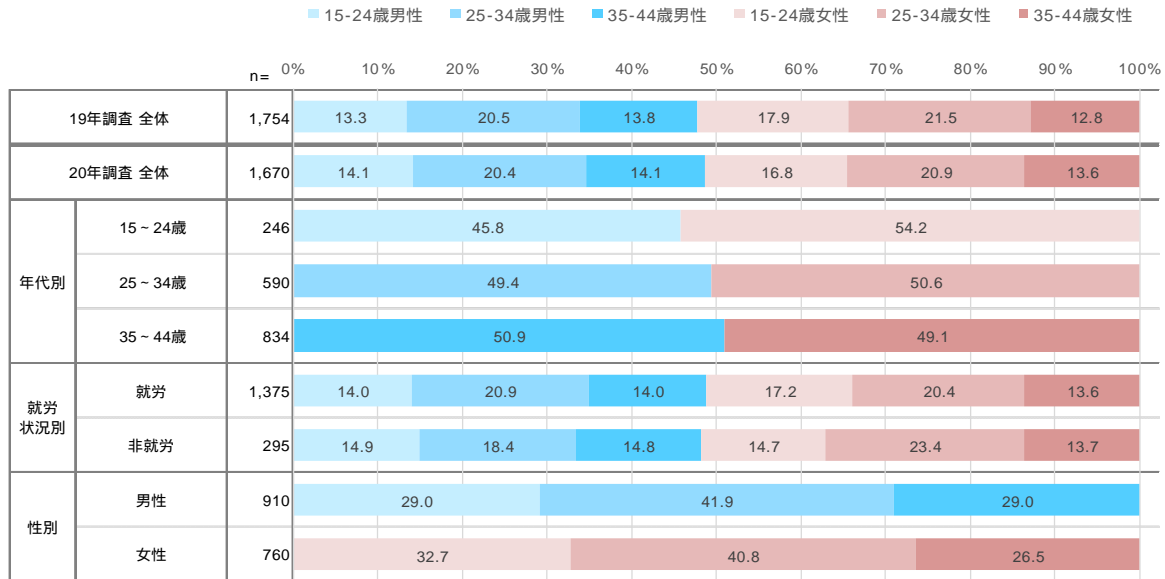
INDEX

- (1) 回答者プロフィール
 - 性年代/居住地/最終学歴
- (2) フリーターの実態
 - フリーターになったきっかけ/正社員経験/正社員経験期間/不安なこと/貯蓄額
- (3) 就労実態
 - 職種/勤務日数/勤務時間/通勤時間/勤続期間/月収/世帯収入
- (4) 就労意識
 - アルバイトの目的/やりがい/理想の上司像/就業意向と求職活動/非求職活動理由
- (5) 仕事さがし
 - 仕事探しの絶対条件/入社の決め手
- (6) 離職・定着
 - 継続意向/満足度/前向きさ/推奨意向/勤務先の実情/早期離職経験と理由
- (7) 今後の意向
 - 正社員意向/正社員意向・非正規社員意向の理由/副業意向/氷河期支援認知
 - ウェイトバックについて

（１）回答者プロフィール

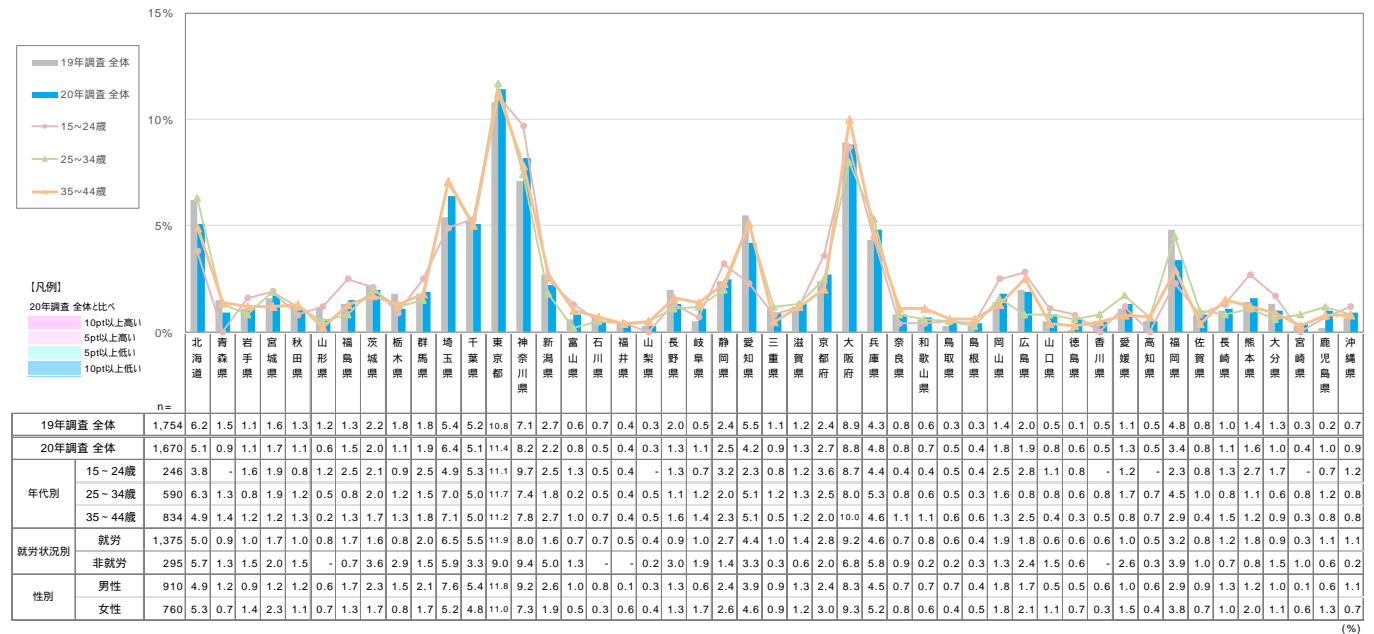
性年代（単一回答）

- ・全体では、25～34歳の男女比率がいずれも約2割とやや高い。
- ・就労状況別でみると、非就労者で25～34歳女性が2割強とやや高い。



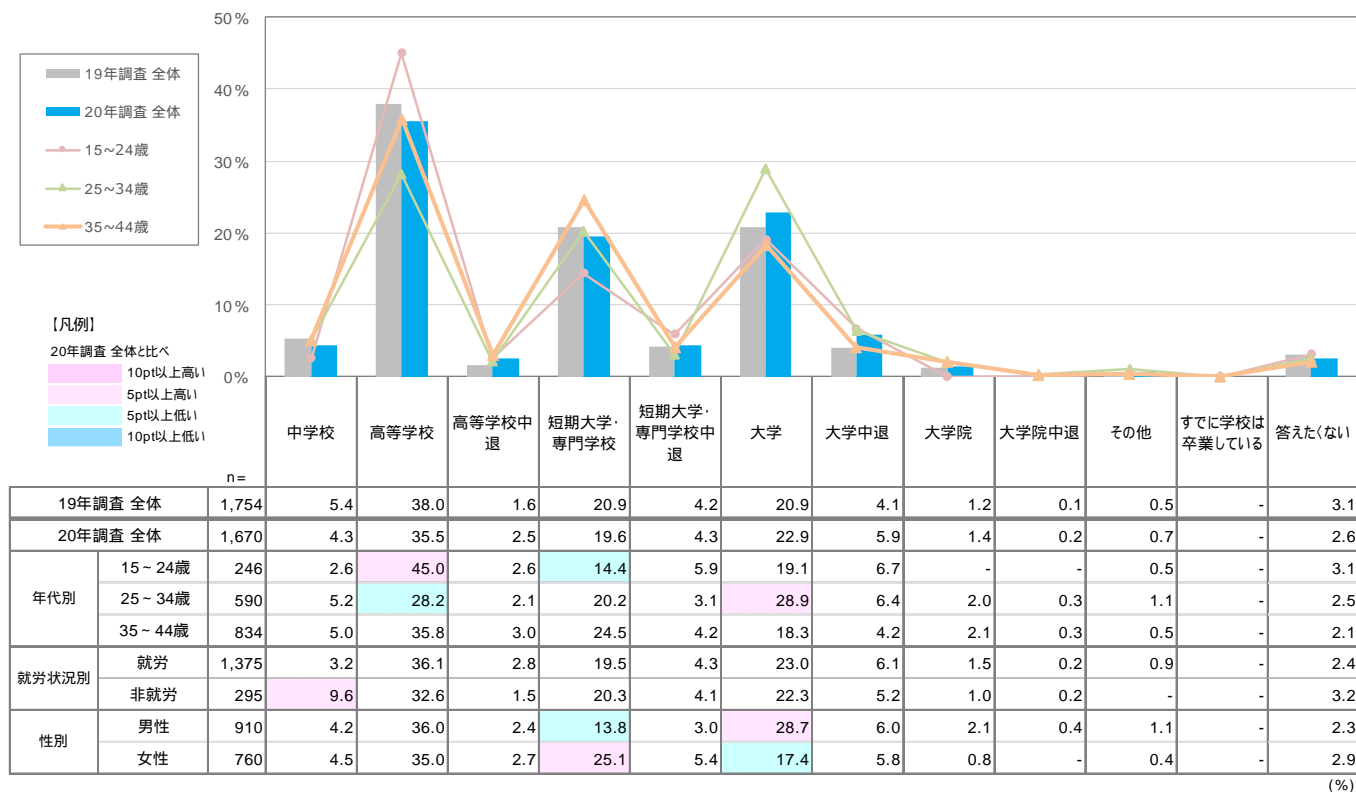
居住地（単一回答）

- ・年代別で居住地をみると、各都道府県において年代による差はほとんどない。



最終学歴（単一回答）

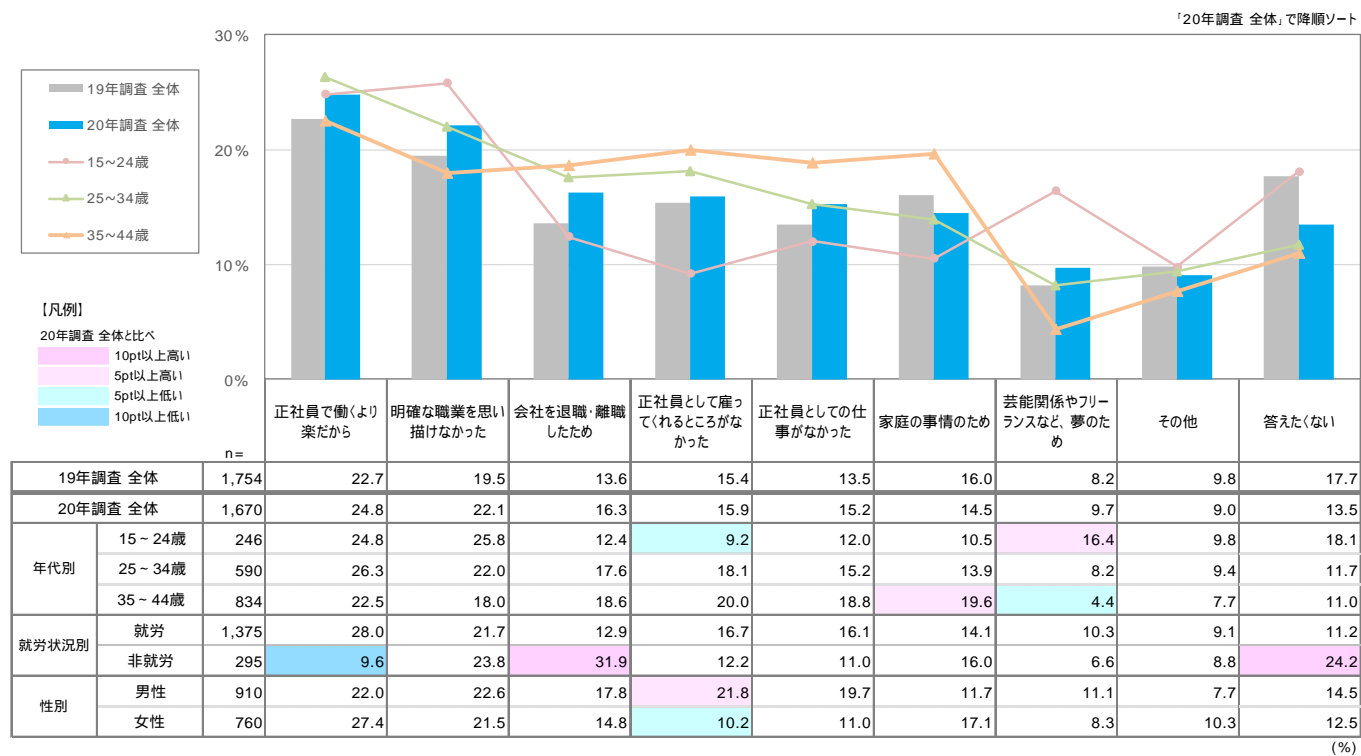
- ・全体でみると、「高等学校」が3割台半ばで最も高く、次いで「大学」「短期大学・専門学校」が約2割で続く。
- ・就労状況別でみると、非就労者で「中学校」が1割と、全体に比べやや高め。
- ・性別でみると、男性で「大学」、女性で「短期大学・専門学校」が全体よりもやや高め。



（２）アルバイト就業実態

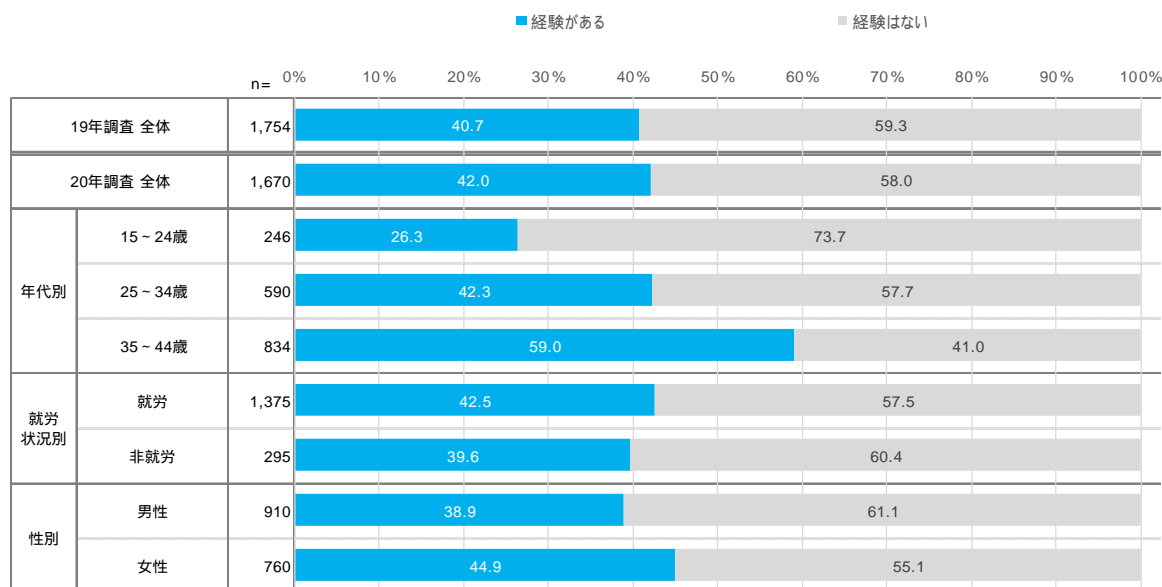
フリーター（非就労者は無職）になったきっかけ（複数回答）

- ・フリーターになったきっかけを全体で見ると、「正社員で働くより楽だから」「明確な職業を思い描けなかった」が2割強で特に高い。
- ・年代別で見ると、「会社を退職・離職したため」「正社員として雇ってくれるところがなかった」「正社員としての仕事があった」「家庭の事情のため」など「環境要因」は高年層ほど比率が高まる。一方、「芸能関係やフリーランスなど、夢のため」といった「動機付け要因」は若年層ほど比率が高まる。



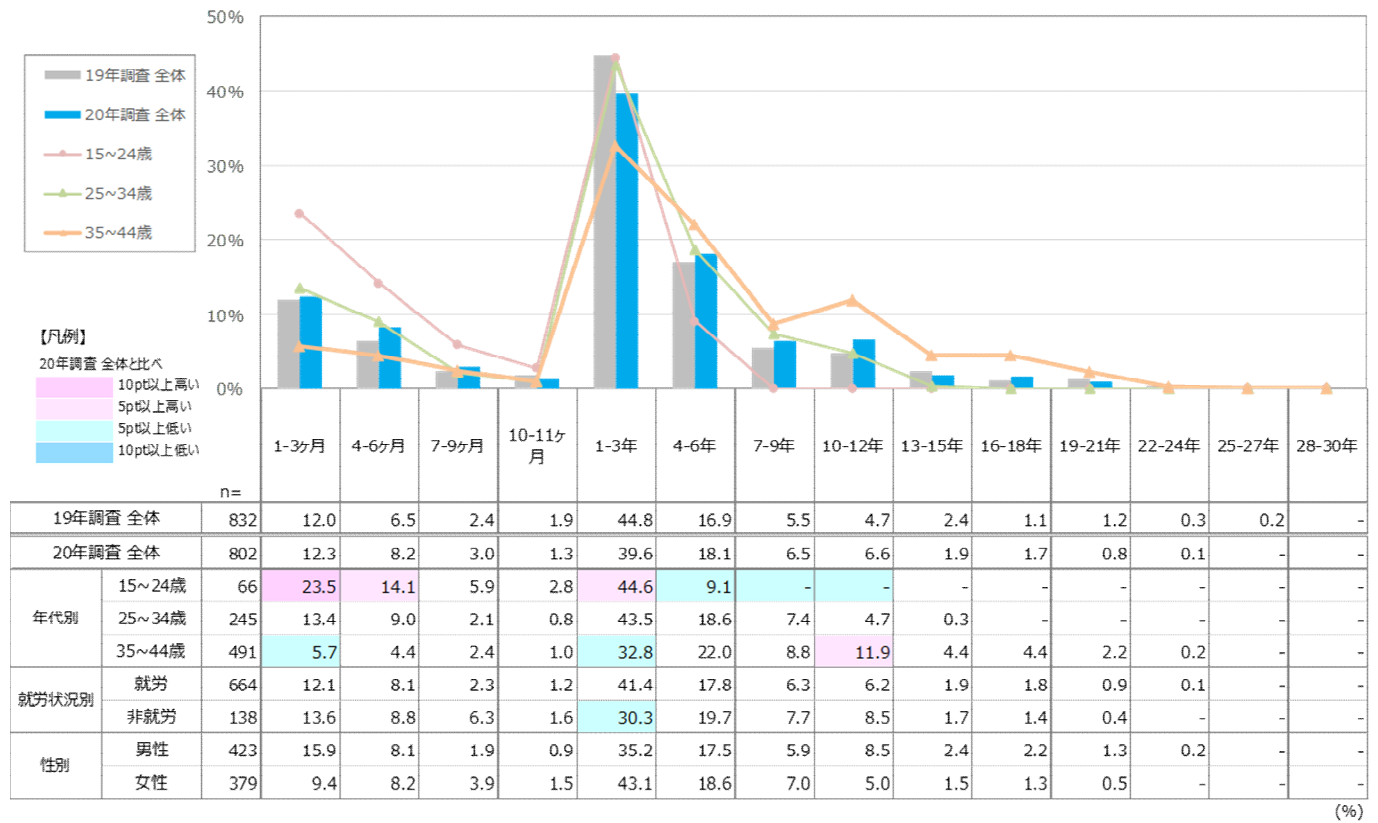
正社員経験（単一回答）

- ・全体では、正社員経験率は約4割。
- ・高年層ほど正社員経験率が上昇。



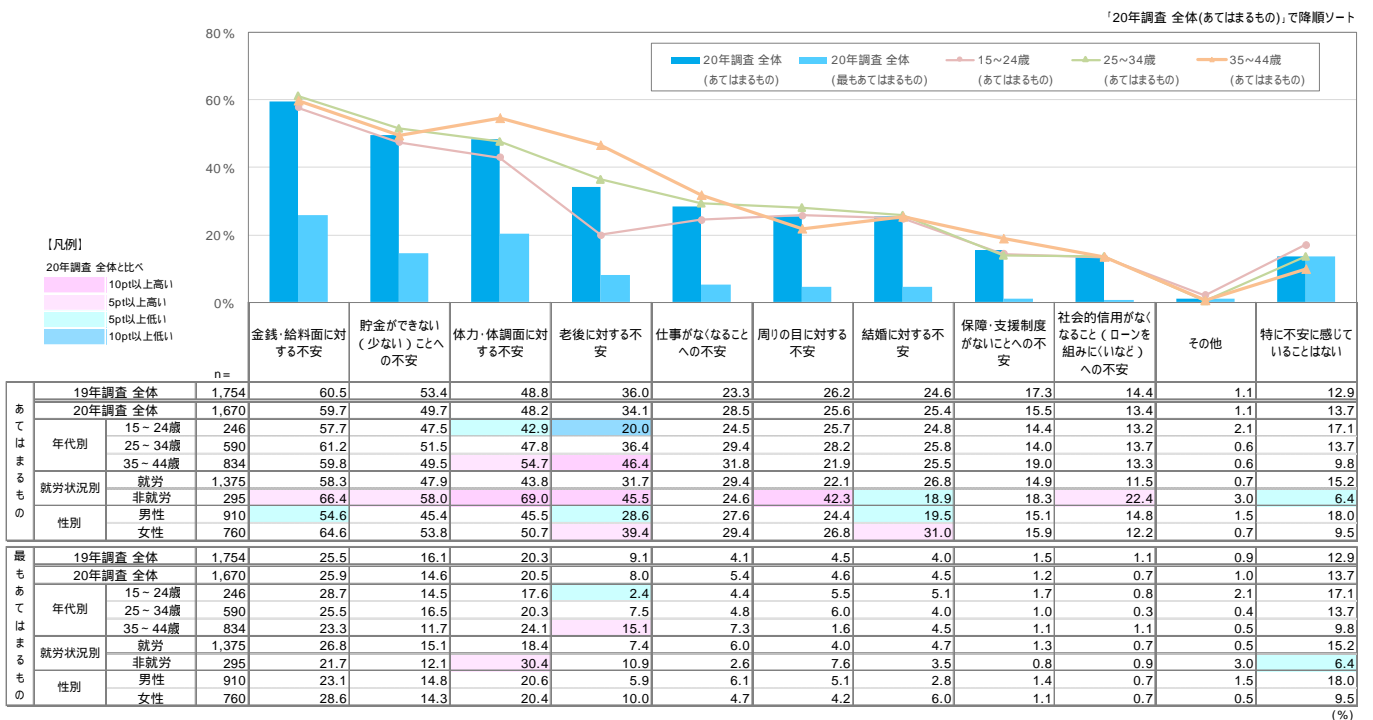
正社員経験期間（数値回答） ベース：正社員として働いた経験のある人

- ・全体で正社員経験期間をみると、「1 3年」が約4割でボリュームゾーン。
- ・年代別でみると、「1 3ヶ月」「4 6ヶ月」は若年層ほど比率が高まる。
- ・性別でみると、「1 3ヶ月」は女性よりも男性のほうが比率が高い。



不安なこと：あてはまるものすべて（複数回答）／最もあてはまるもの（単一回答）

- ・全体で「不安内容：あてはまるもの」をみると、「金銭・給料面に対する不安」「貯金ができない（少ない）ことへの不安」「体力・体調面に対する不安」が5～6割と特に高い。
- ・年代別でみると、「体力・体調面に対する不安」「老後に対する不安」は高年層ほど比率が高まる。
- ・就労状況別でみると、非就労者は多くの項目で勤労者よりも不安度が高い。
- ・性別でみると、女性で「老後に対する不安」「結婚に対する不安」など、「今後のライフスタイルへの不安」が強い。



貯蓄額（数値回答）

- ・全体では、貯蓄額の中央値が「30万円」。
- ・年代別で中央値をみると、15～24歳で「16万円」、25～34歳・35～44歳で「50万円」と大きな差がある。
- ・就労状況別で中央値をみると、就労者が「46万円」であるのに対し、非就労者では「4万円」と差が大きい。

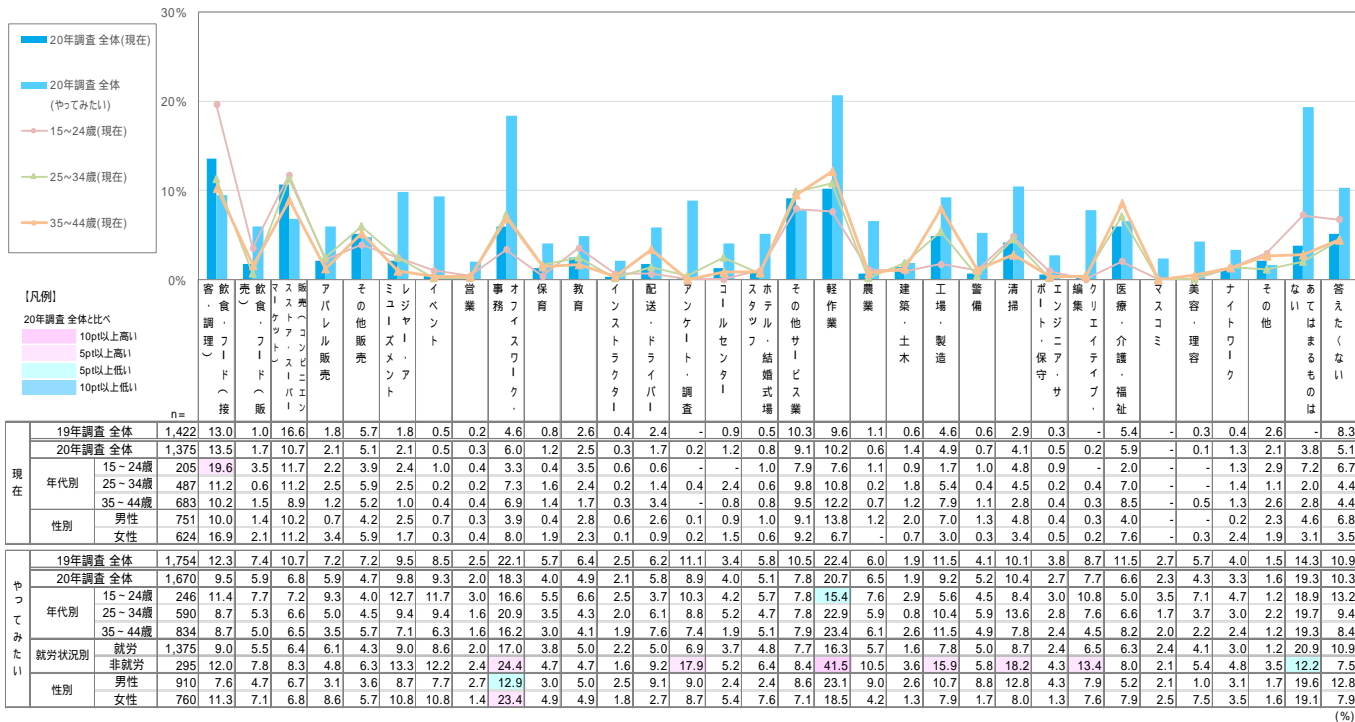


（3）就労実態

職種：現在の職種（単一回答）／ やってみたい職種（複数回答）

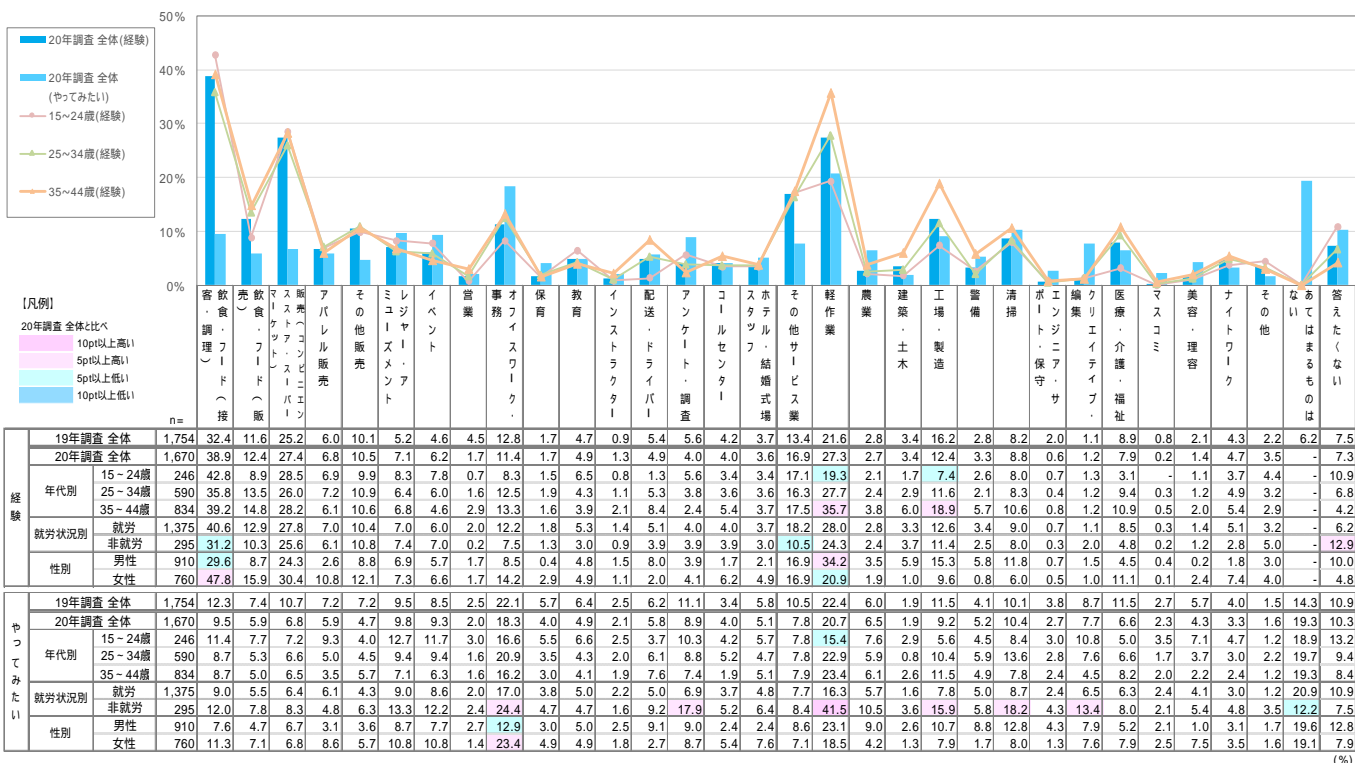
ベース：現在の職種 現在の職業がパート・アルバイト／ やってみたい職種 有効回答のみ

- ・現在の職種を全体でみると、「飲食・フード（接客・調理）」13.5%、「販売（コンビニエンスストア・スーパーマーケット）」10.7%が1割台で特に高い。
- ・年代別でみると、15～24歳で「飲食・フード（接客・調理）」が全体よりも高め。
- ・やってみたい職種を全体でみると、「軽作業」20.7%、「オフィスワーク・事務」18.3%、「清掃」10.4%と特に高い。
- ・就労状況別でみると、非就労者で「軽作業」が41.5%と特徴的に高い。



職種：今まで経験のある職種／ やってみたい職種（複数回答）

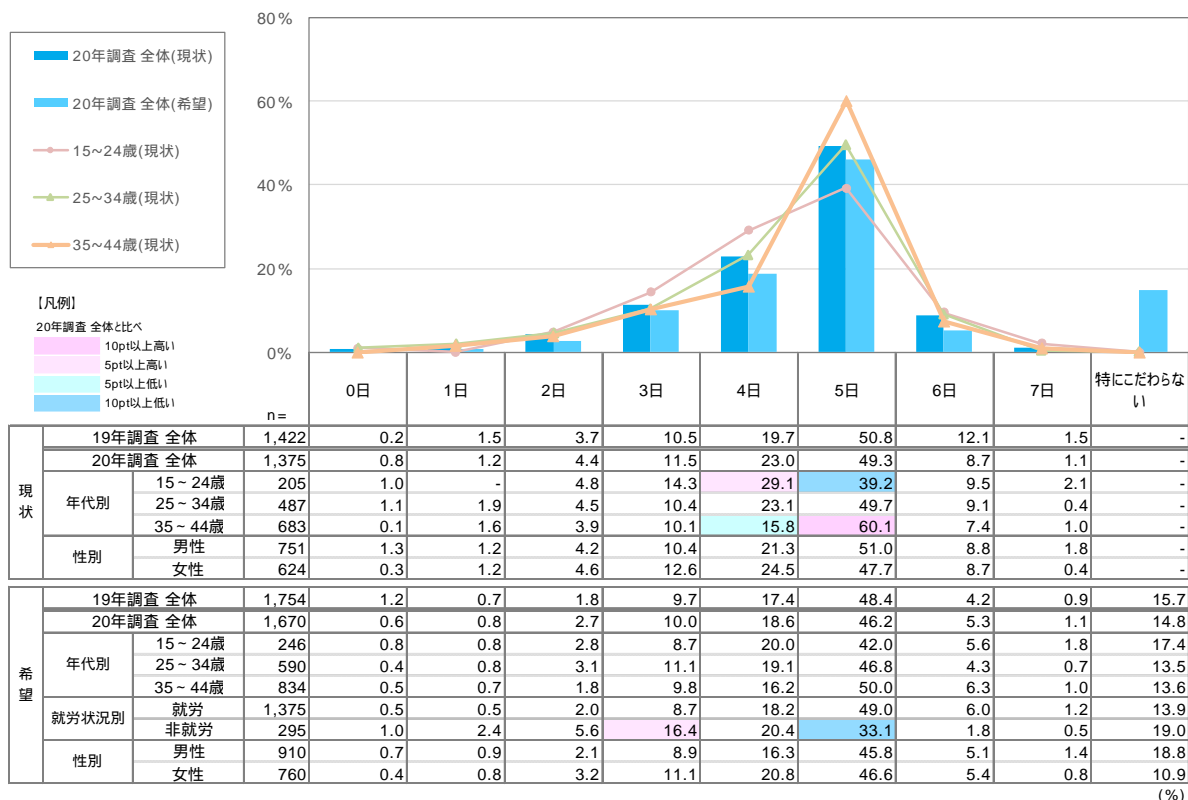
- ・全体で経験のある職種を見ると、「飲食・フード（接客・調理）」「販売（コンビニエンスストア・スーパーマーケット）」「軽作業」が約3～4割と特に高い。
- ・年代別でみると、高年層ほど「軽作業」と「工場・製造」の比率が高まる。
- ・性別でみると「飲食・フード（接客・調理）」は女性で、「軽作業」は男性で比率が全体よりも高め。



勤務日数：1週間あたりのパート・アルバイト日数 / 希望する1週間あたりのパート・アルバイト日数（単一回答）

ベース：1週間あたりの日数 現在の職業がパート・アルバイト / 希望する1週間あたりの日数 有効回答のみ

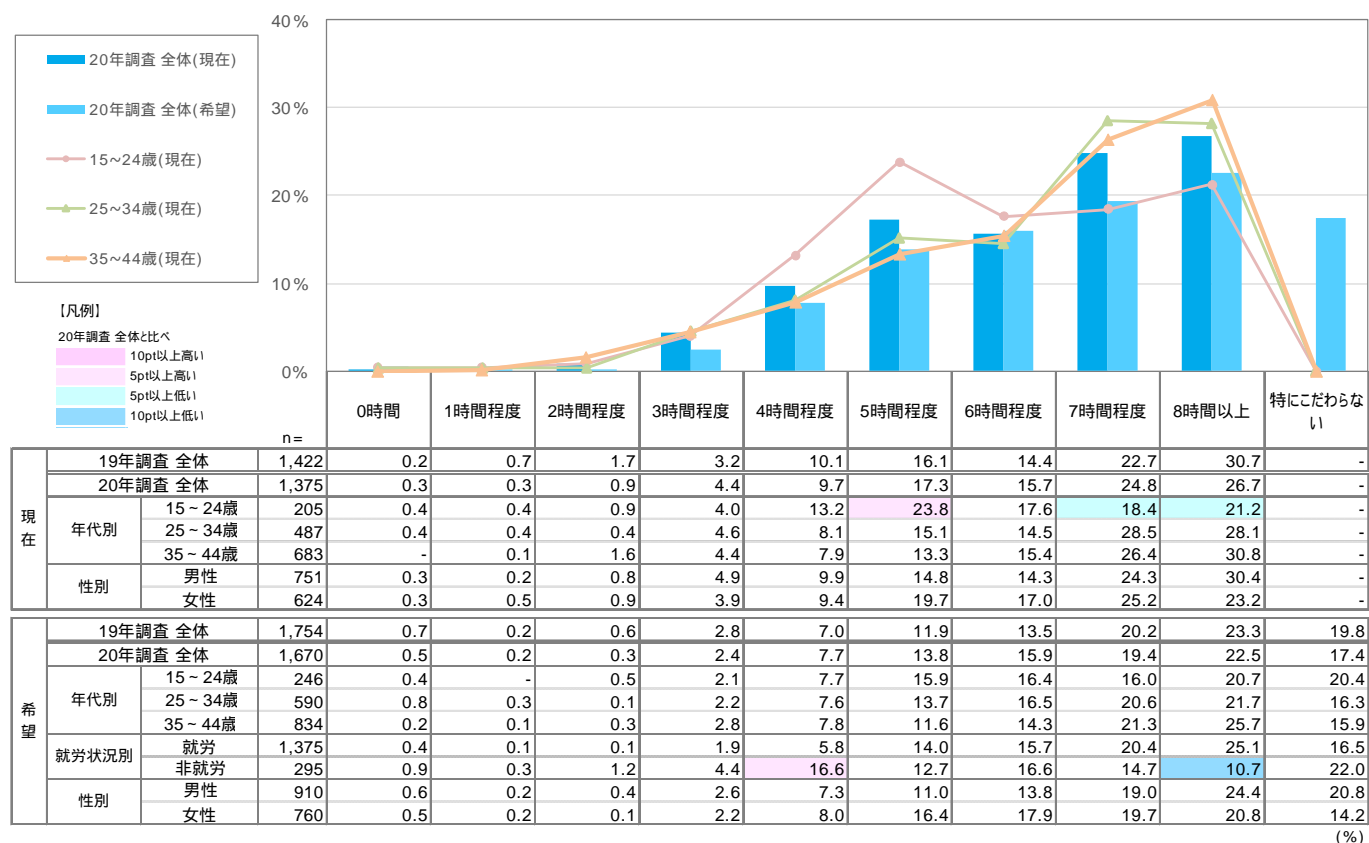
- ・全体で【現状の勤務日数】【希望の勤務日数】はいずれも「5日」が約5割と最も高い。
- ・年代別でみると、【現状の勤務日数】【希望の勤務日数】はいずれも「5日」は高年層ほど、「4日」は若年層ほど比率が高まる傾向。



勤務時間：1日あたりの勤務時間 / 希望する1日あたりの勤務時間（単一回答）

ベース：1日あたりの勤務時間 現在の職業がパート・アルバイト / 希望する1日あたりの勤務時間 有効回答のみ

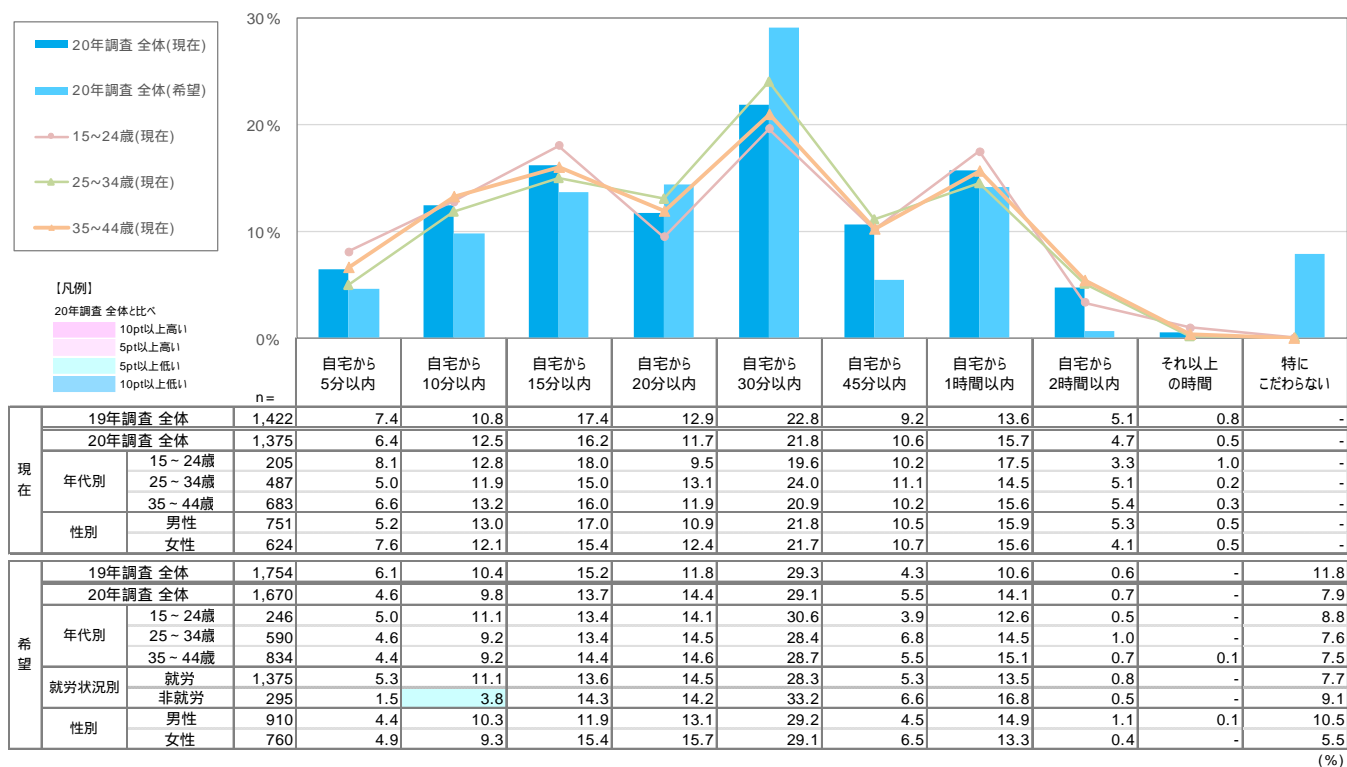
- ・全体で【現在の勤務時間】をみると、「8時間以上」が最も高く26.7%、次いで「7時間程度」が24.8%、「5時間程度」が17.3%。
- ・年代別でみると、15～24歳で「5時間程度」が全体よりもやや高め。
- ・全体で【希望の勤務時間】をみると、「8時間以上」が最も高く22.5%、次いで「7時間程度」が19.4%、「6時間程度」が15.9%。



通勤時間：自宅から勤務先への通勤時間 / 希望する自宅から勤務先への通勤時間（単一回答）

ベース：通勤時間 現在の職業がパート・アルバイト / 希望する通勤時間 有効回答のみ

・全体では、【現在の通勤時間】、【希望している通勤時間】はいずれも「自宅から30分以内」が最多。

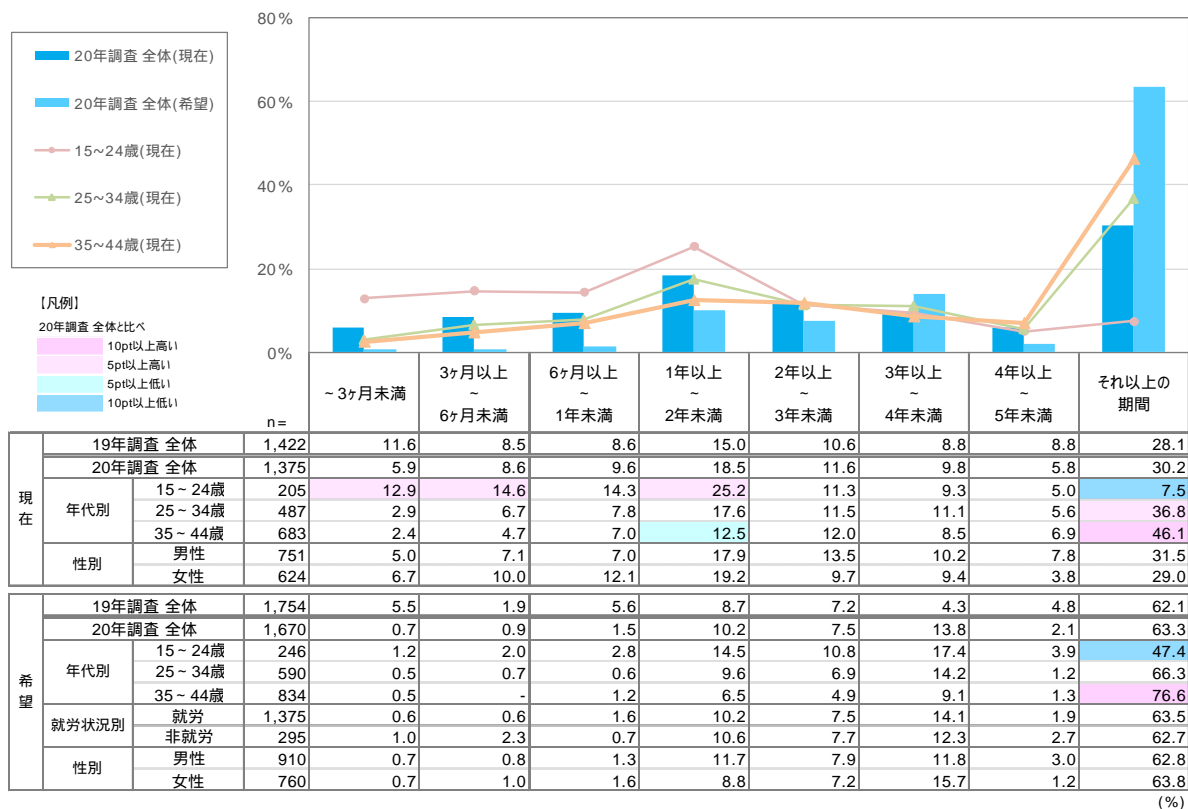


勤務期間：現在の勤務先での勤務期間 / 理想の勤務期間（数値回答）

ベース：現在の勤務期間 現在の職業がパート・アルバイト / 理想の勤務期間 有効回答のみ

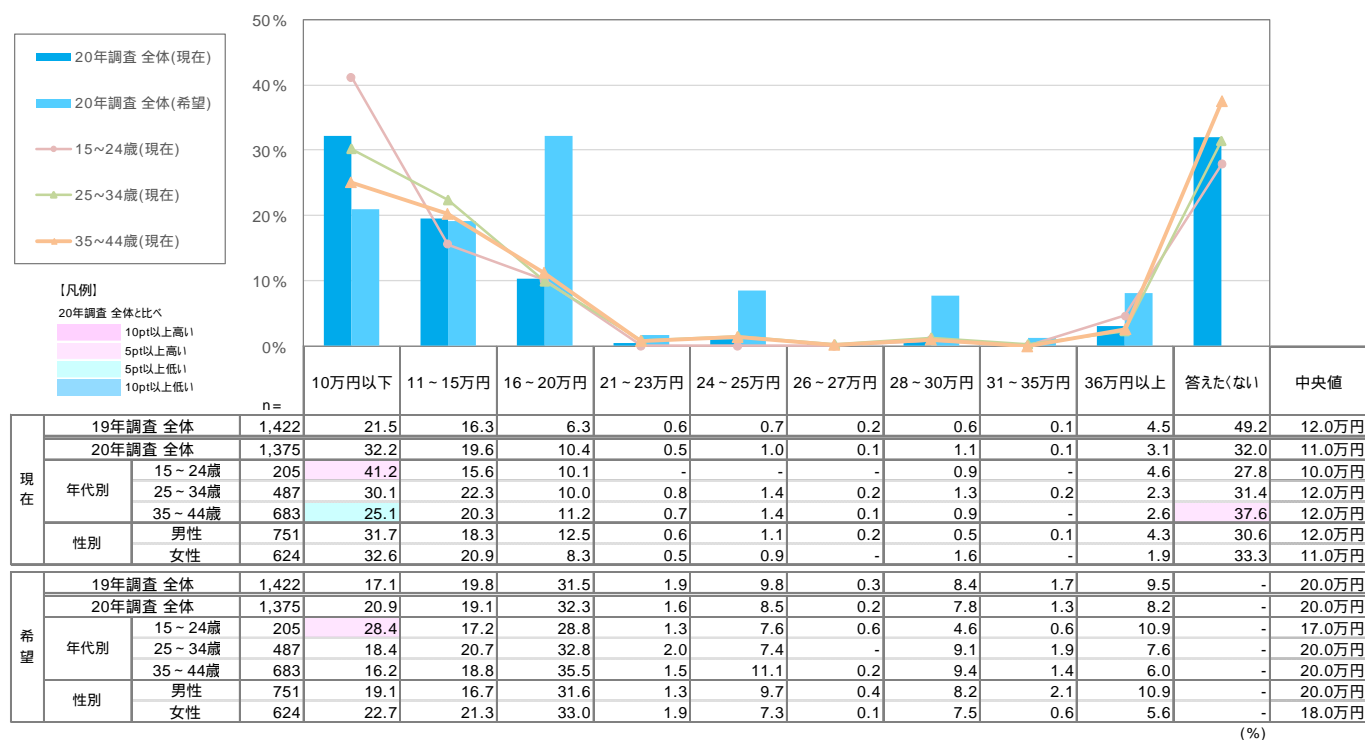
・【現在の勤務期間】、【希望している勤務期間】はいずれも「それ以上の期間」が最も高く、【現在】では30.2%、【希望】では63.3%。

・年代別でみると、【現在の勤務期間】、【希望している勤務期間】のいずれも、「それ以上の期間（＝5年以上）」は高年層ほど比率が高まる。



平均月収／希望月収（数値回答） ベース：現在の職業がパート・アルバイト

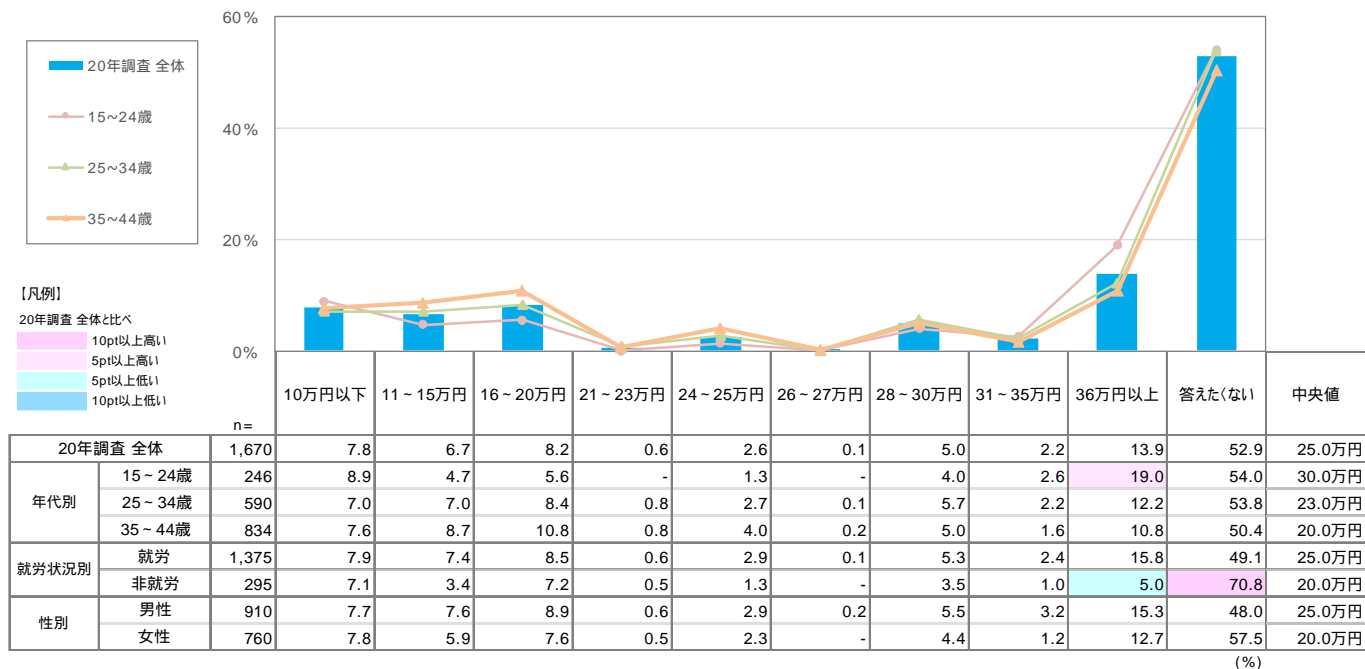
・全体では、【平均月収（中央値）】は11万円、【希望月収（中央値）】は20万円。



世帯月収（数値回答） ベース：有効回答のみ

・全体では、【世帯月収（中央値）】は25万円。

・年代別で中央値をみると、若年層ほど高まる。

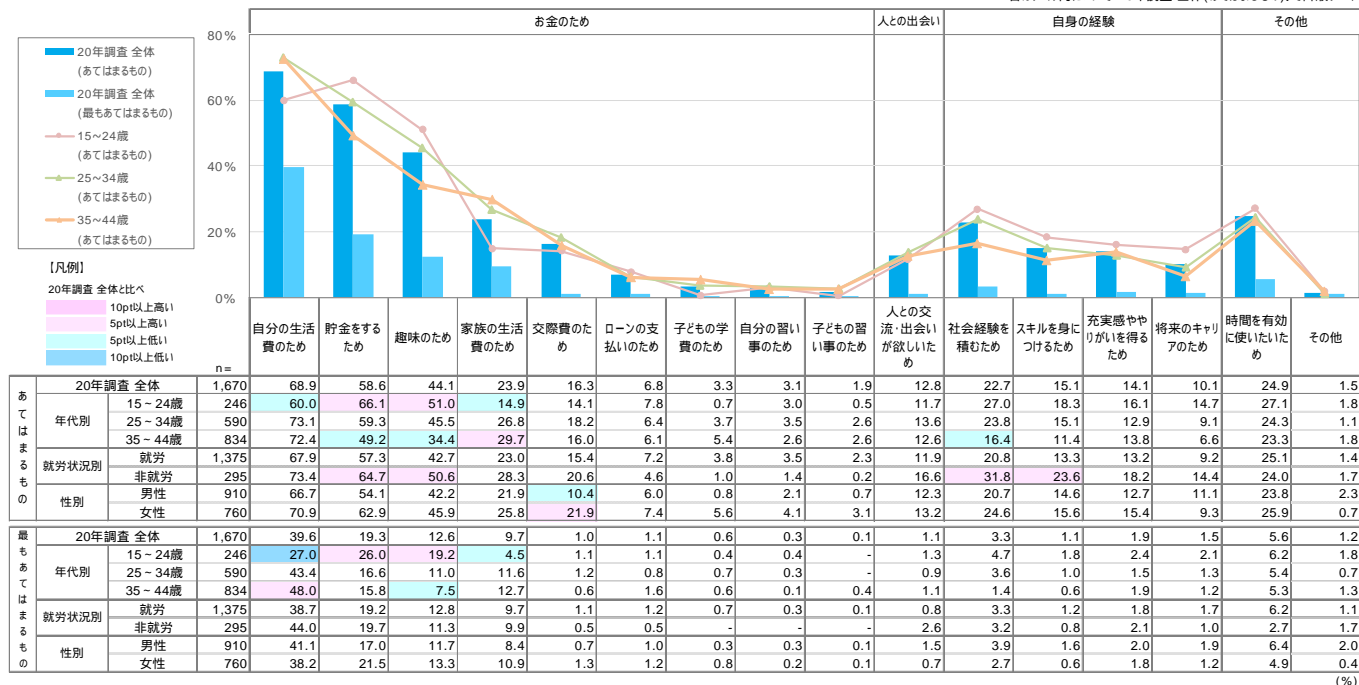


（４）就労意識

アルバイト（就労）の目的：あてはまるものすべて（複数回答）／最もあてはまるもの（単一回答）

- ・全体で【あてはまるもの】をみると、「自分の生活費のため」68.9%、「貯金をするため」58.6%、「趣味のため」44.1%、「家族の生活費のため」23.9%など、「お金のため」に関するものが主となっている。
- ・年代別でみると、「貯金をするため」「趣味のため」「社会経験を積むため」などは若年層ほど、「家族の生活費のため」は高年層ほど比率が高まる。

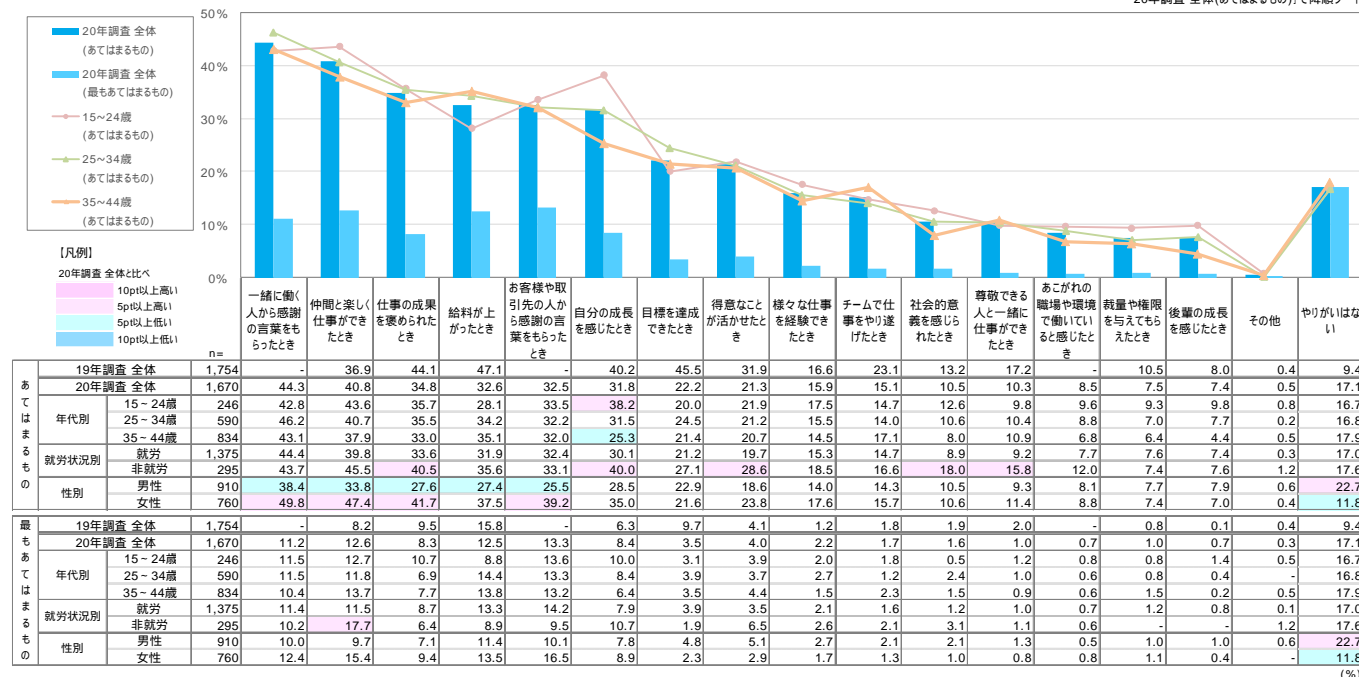
各カテゴリ内について「20年調査 全体（あてはまるもの）」で降順ソート



やりがい：あてはまるものすべて（複数回答）／最もあてはまるもの（単一回答）

- ・全体で【やりがいとしてあてはまるもの】をみると、「一緒に働く人から感謝の言葉をもらったとき」44.3%、「仲間と楽しく仕事ができるとき」40.8%が特に高い。
- ・年代別でみると、「自分の成長を感じたとき」は若年層ほど比率が高まる。
- ・性別でみると、多くの項目において女性が男性を上回る。

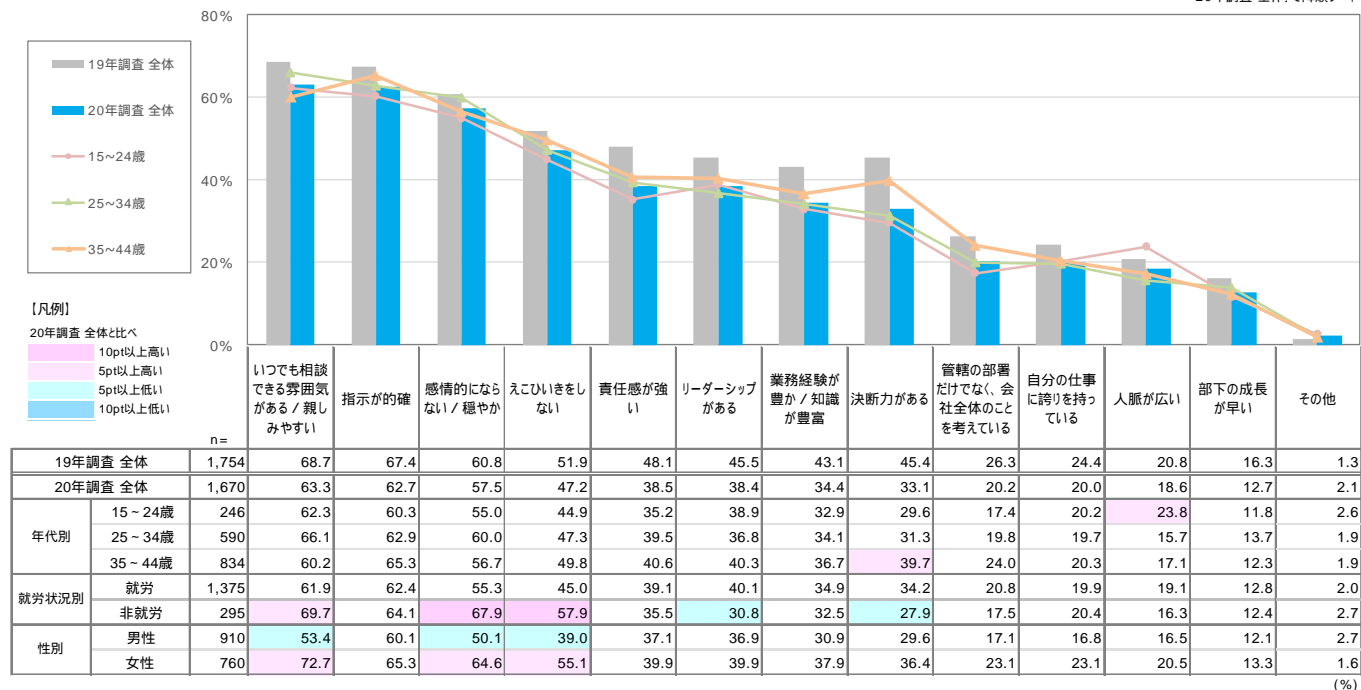
「20年調査 全体（あてはまるもの）」で降順ソート



理想の上司像（複数回答）

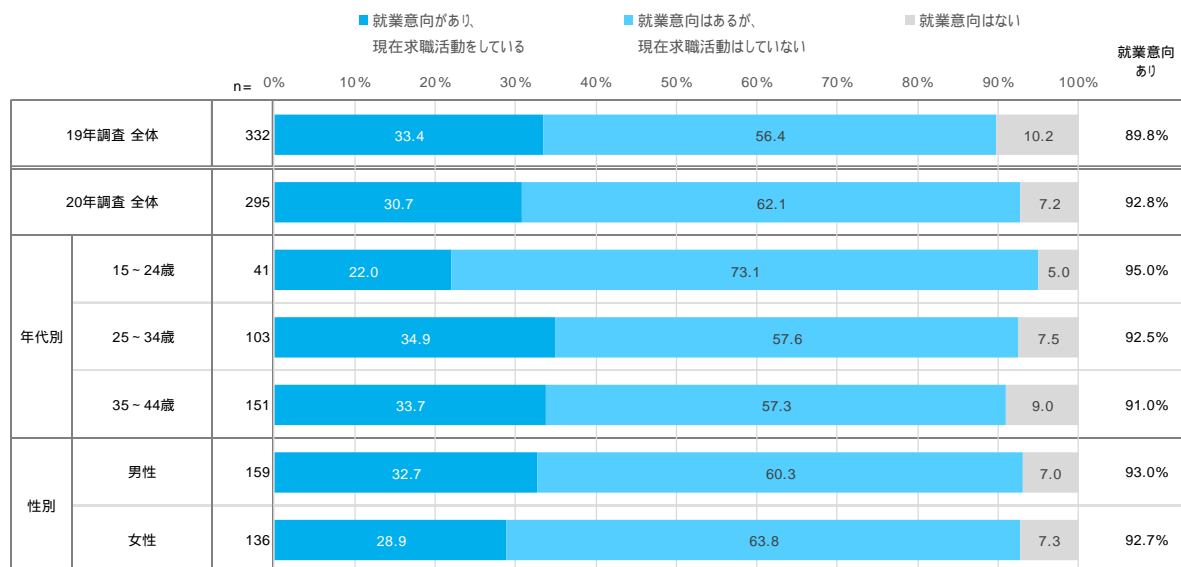
- ・全体では、「いつでも相談できる雰囲気がある／親しみやすい」63.3％、「指示が的確」62.7％、「感情的にならない／穏やか」57.5％が高い。
- ・年代別でみると、35～44歳で「決断力がある」が全体よりも高め。
- ・性別でみると、項目全般に女性が男性を上回る。

※20年調査 全体で降順ソート



就業意向と求職活動有無（単一回答） ベース：現在非就労

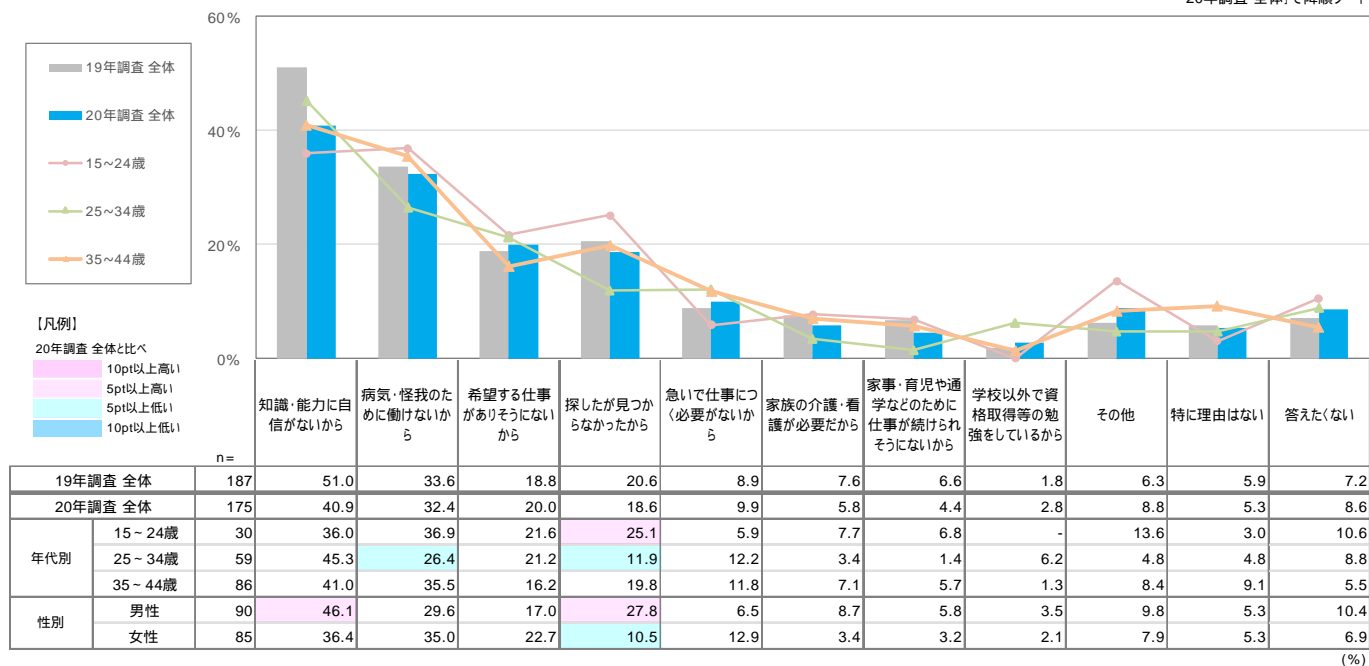
- ・現在無職の人のうち、「就業意向がある」人は9割強。「現在求職活動をしている」人は3割。
- ・年代別でみると、いずれも「就業意向がある」人は9割台であるが、「現在求職活動をしている」人は15～24歳で2割強と、他の年代よりも低い。



求職活動をしていない、非就業意向理由（複数回答） ベース：就業意向はあるが求職活動をしていない

- ・【就業意向はあるが求職活動をしていない理由】をみると、「知識・能力に自信がないから」が最も高く、次いで「病気・怪我のために働けないから」。
- ・15～24歳で「探したが見つからなかった」が全体よりもやや高め。

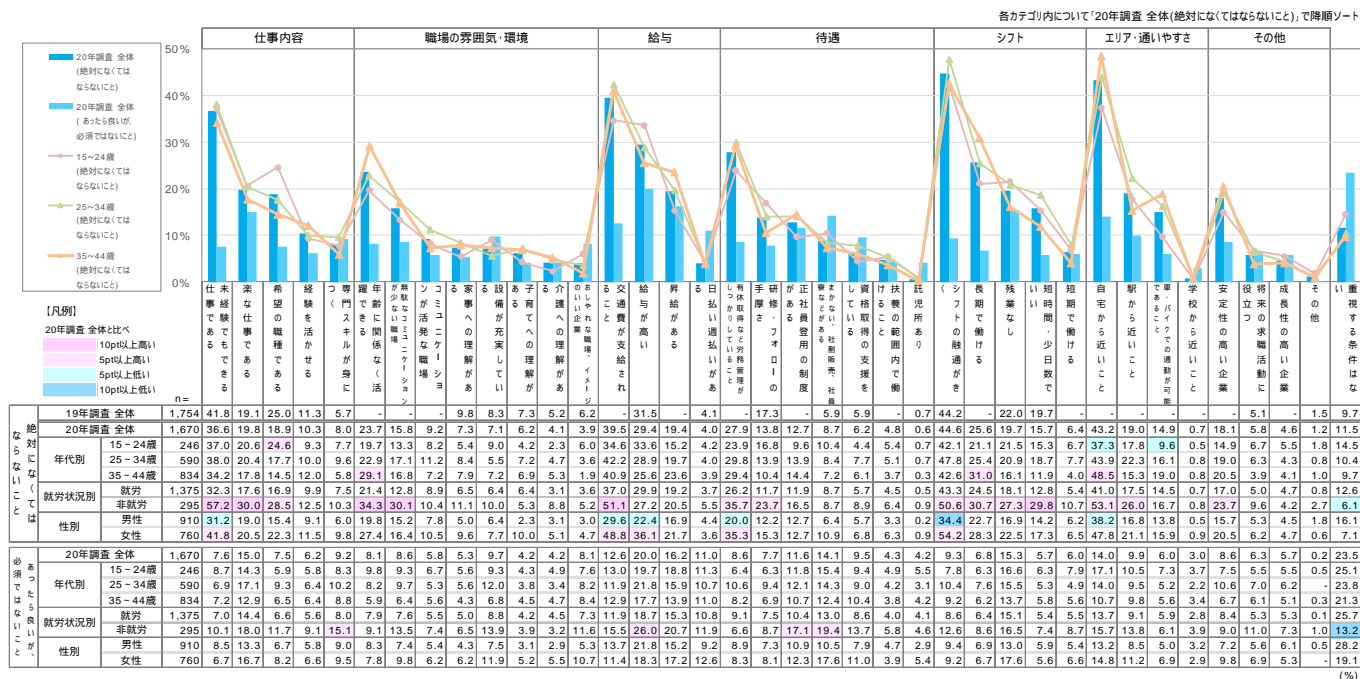
「20年調査 全体」で降順ソート



(5) 仕事さがし

仕事探し時の条件：絶対になくはならないこと／あったら良いが、必須ではないこと（複数回答）

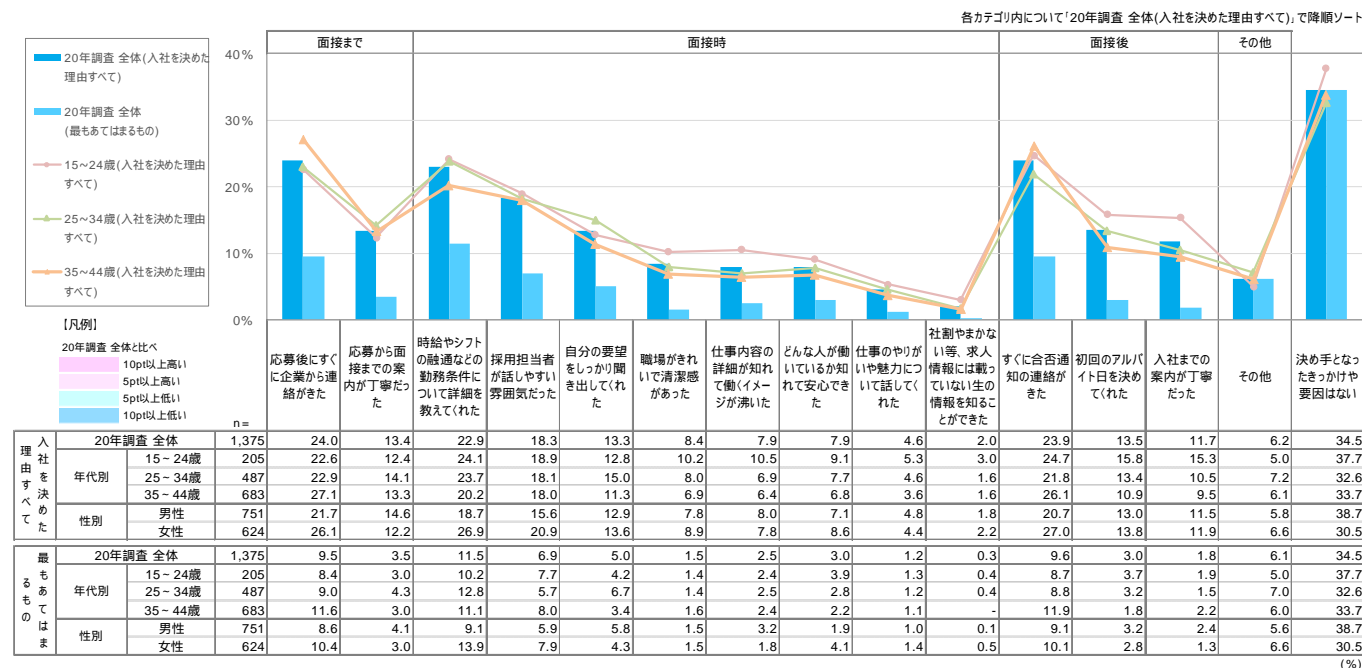
- ・全体で「仕事探し時の絶対条件」をみると、「シフトの融通がきく」「自宅から近いこと」「交通費が支給されること」「未経験でもできる仕事である」が4割前後と特に高い。
- ・年代別でみると、「自宅から近いこと」「長期で働ける」「年齢に関係なく活躍できる」は高年齢層ほど比率が高まる。
- ・全体で「あったら良いが、必須ではないこと」をみると、「給与が高い」「昇給がある」「残業なし」「楽な仕事である」が約2割で特に高い。



入社の決め手：あてはまるものすべて（複数回答）／最もあてはまるもの（単一回答）

ベース：現在の職業がパート・アルバイト

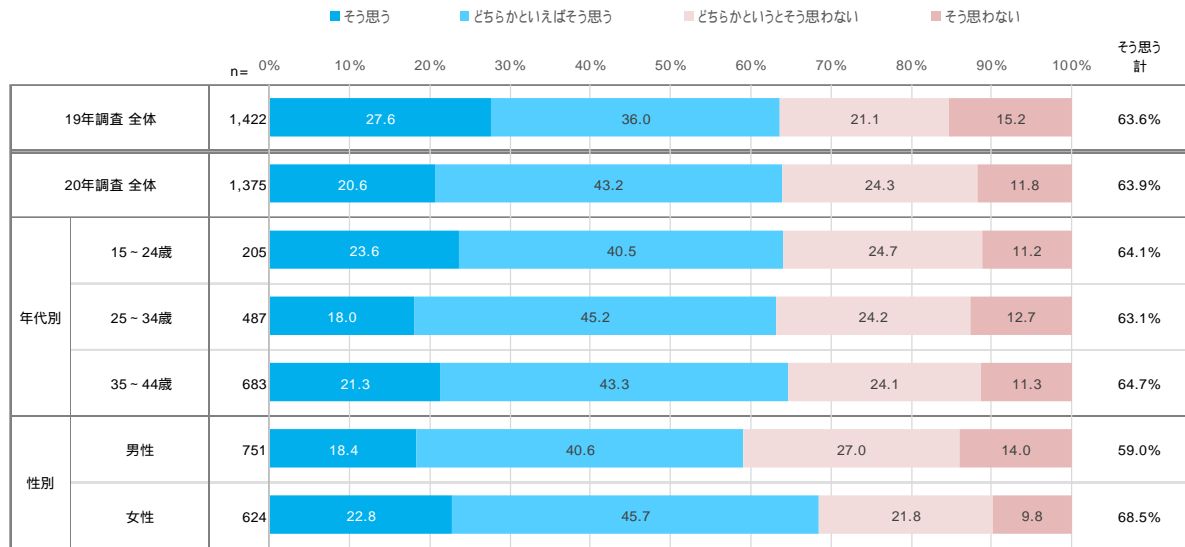
- ・全体で「入社を決めた理由すべて」は、「応募後にすぐに企業から連絡がきた」「すぐに可否通知の連絡がきた」など『迅速な連絡』のほか、「時給やシフトの融通などの勤務条件について詳細を教えた」が2割強で特に高い。



（6）離職・定着

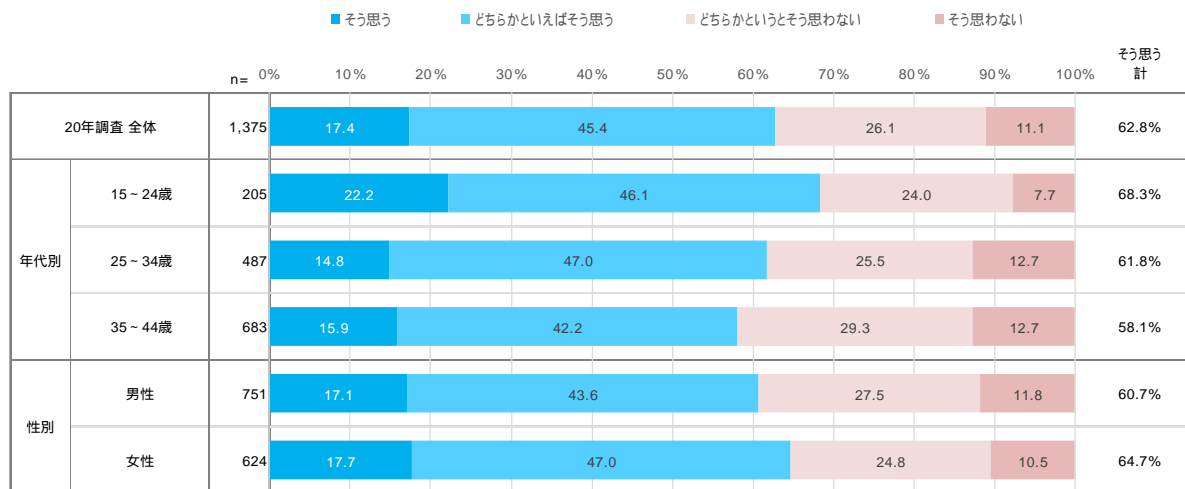
現在のパート・アルバイト先で長く働きたいと思えるか（単一回答） ベース：現在の職業がパート・アルバイト

- ・全体では、現アルバイト先での継続就業意向は6割強。
- ・年代別による現アルバイト先での継続就業意向に差はみられない。



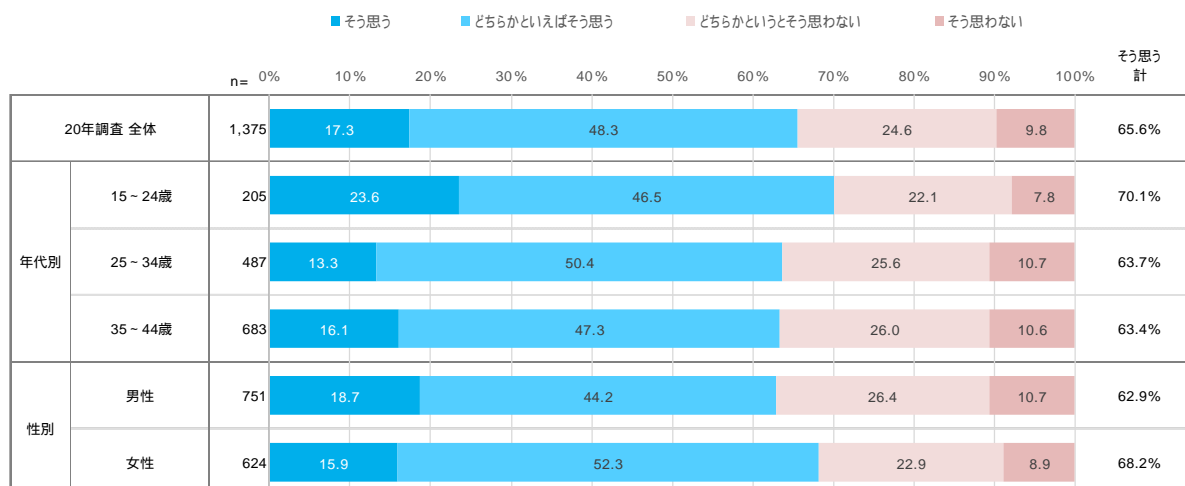
現在のパート・アルバイト先に満足しているか（単一回答） ベース：現在の職業がパート・アルバイト

- ・全体では、現アルバイト先での満足度は6割強。
- ・年代別でみると、若年層ほど満足度の比率が高まる。



現在のパート・アルバイトに前向きに取り組める（単一回答） ベース：現在の職業がパート・アルバイト

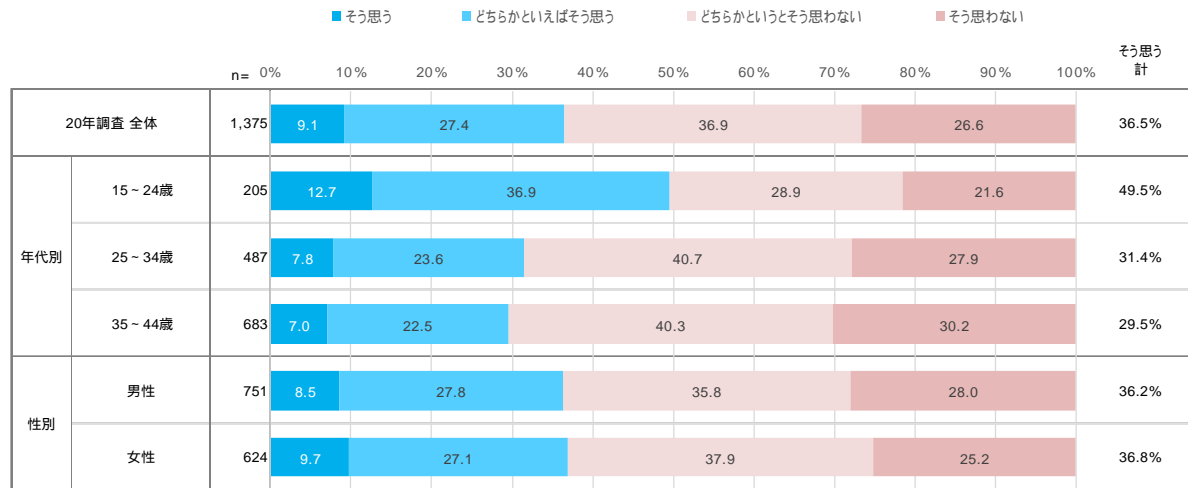
- ・全体では、現アルバイト先で前向きに取り組めると回答した人の比率は7割弱。
- ・年代別でみると、15～24歳で現アルバイト先で前向きに取り組めると回答した人の比率が7割と特に高い。



現在のパート・アルバイト先を家族や友人に薦めたいと思える（単一回答）

ベース：現在の職業がパート・アルバイト

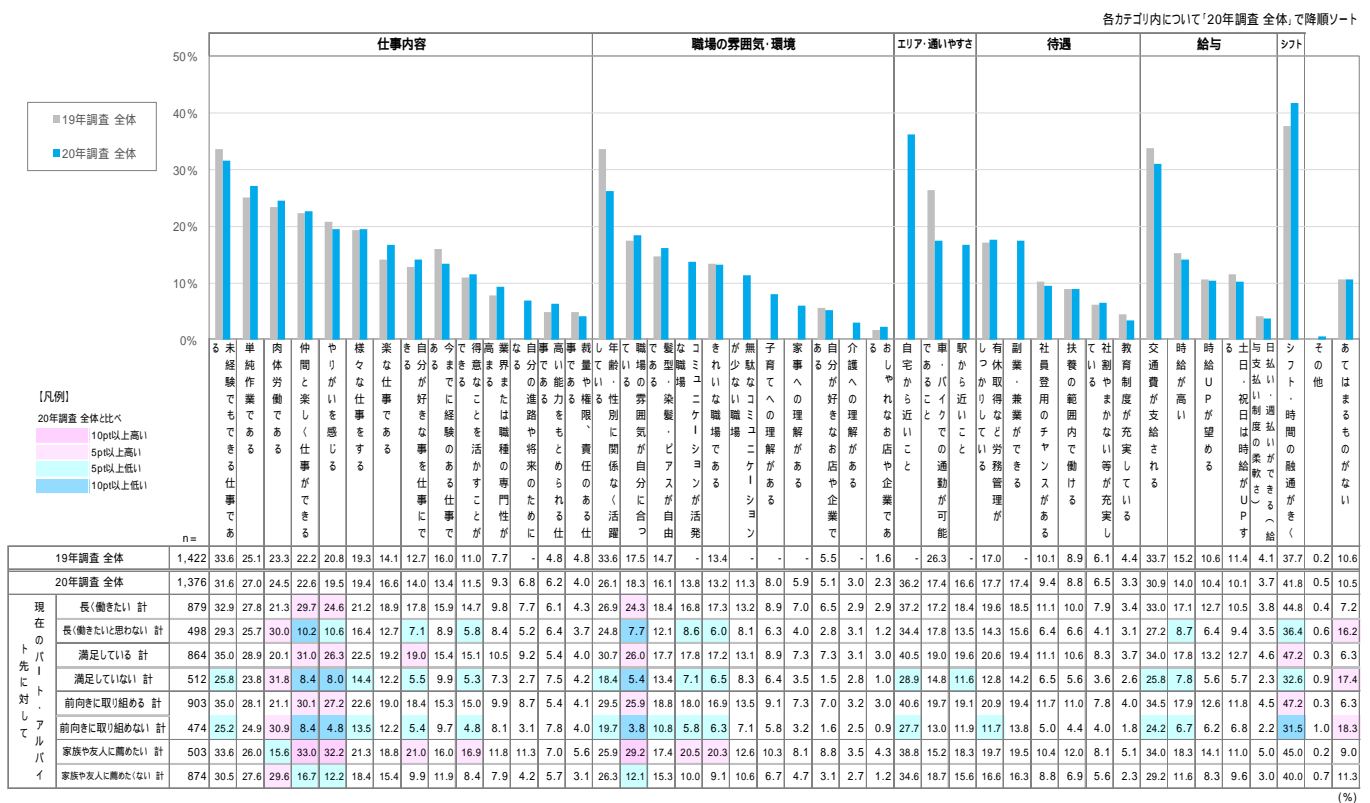
- ・全体では、現アルバイト先での勤務推奨意向度は4割弱。
- ・年代別でみると、15～24歳で勤務推奨意向度が5割と突出して高い。



勤務先の実情（複数回答）

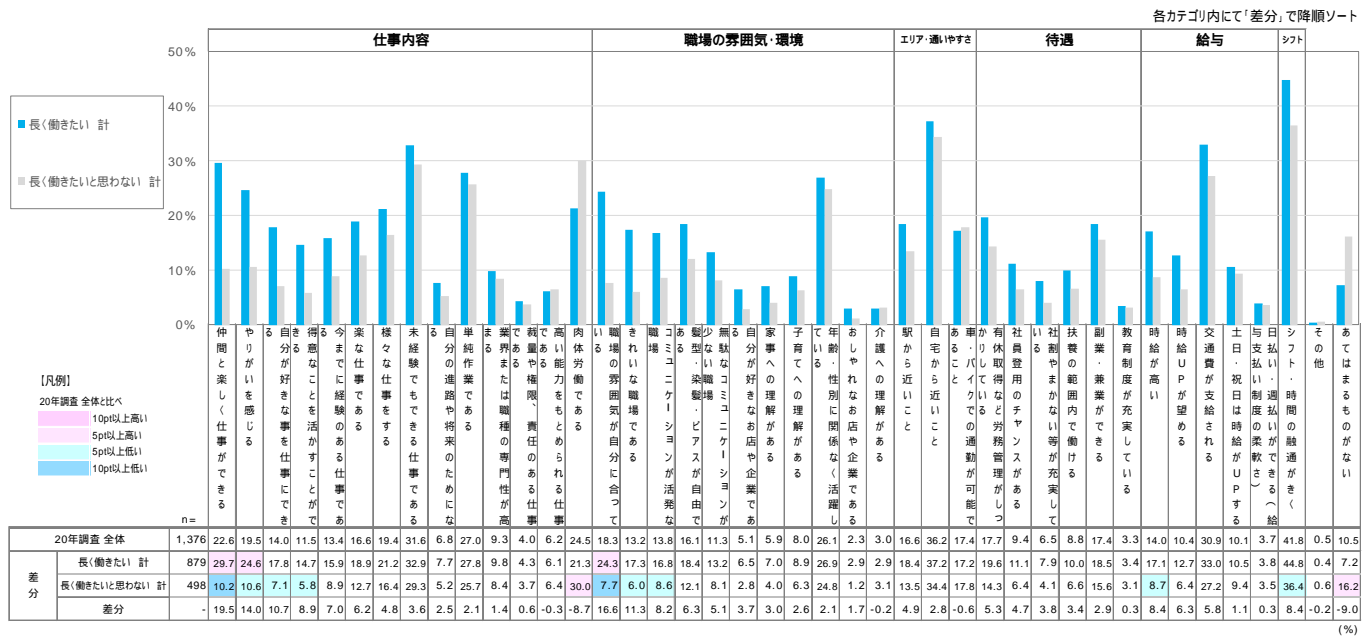
ベース：現在の職業がパート・アルバイト

- ・全体では、「シフト・時間の融通がきく」「自宅から近いこと」「未経験でもできる仕事である」「交通費が支給される」が3～4割と特に高い。
- ・現在のパート・アルバイト先に対する評価のうち、「家族や友人に薦めたい」と回答した人は、「仲間と楽しく仕事ができる」「やりがいを感じる」「職場の雰囲気が自分に合っている」の回答割合が全体に対して10Pt以上高い。



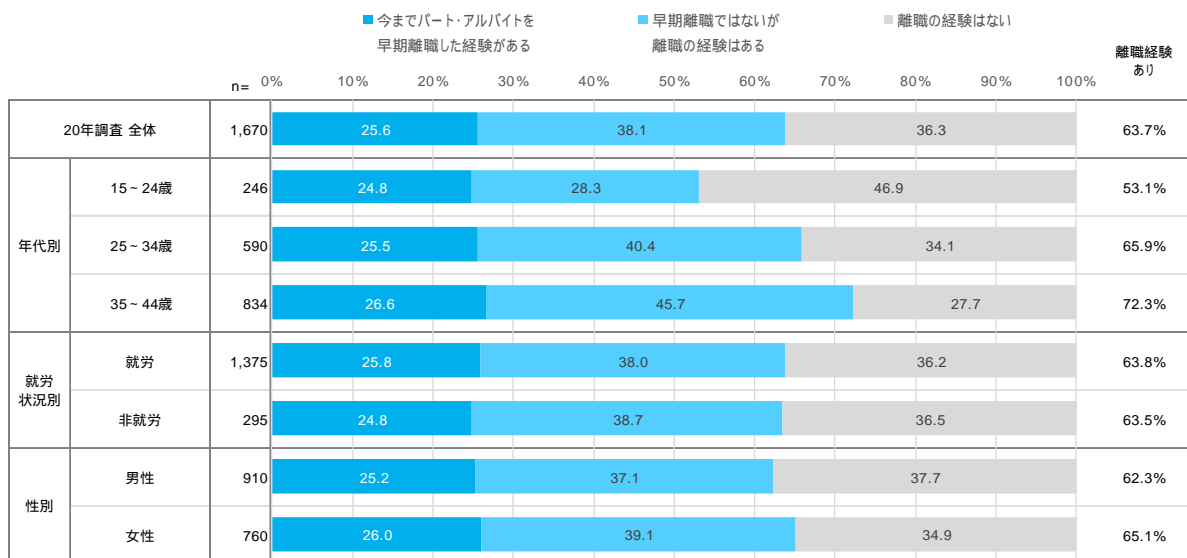
勤務先の実情（複数回答）：継続移行と実情の差 ベース：現在の職業がパート・アルバイト

・現在の勤務先で長く働きたいと思う人と思わない人の差分として、全体では「仲間と楽しく仕事ができる」が最も大きく19.5pt差、ついで「職場の雰囲気が自分に合っている」が16.6pt差、「やりがいを感じる」が14.0pt差となっている。



早期離職経験（単一回答）

ここでの「早期離職」：引越し等のやむを得ない状況は含まず、就業当初は長期勤務予定だったアルバイトを【1ヶ月以内】に辞めることとする。
 ・全体では、早期離職経験ありは2割半ば。
 ・早期ではないものも含めると、離職経験ありの割合は全体で63.7%。高年層ほど高まる傾向にある。

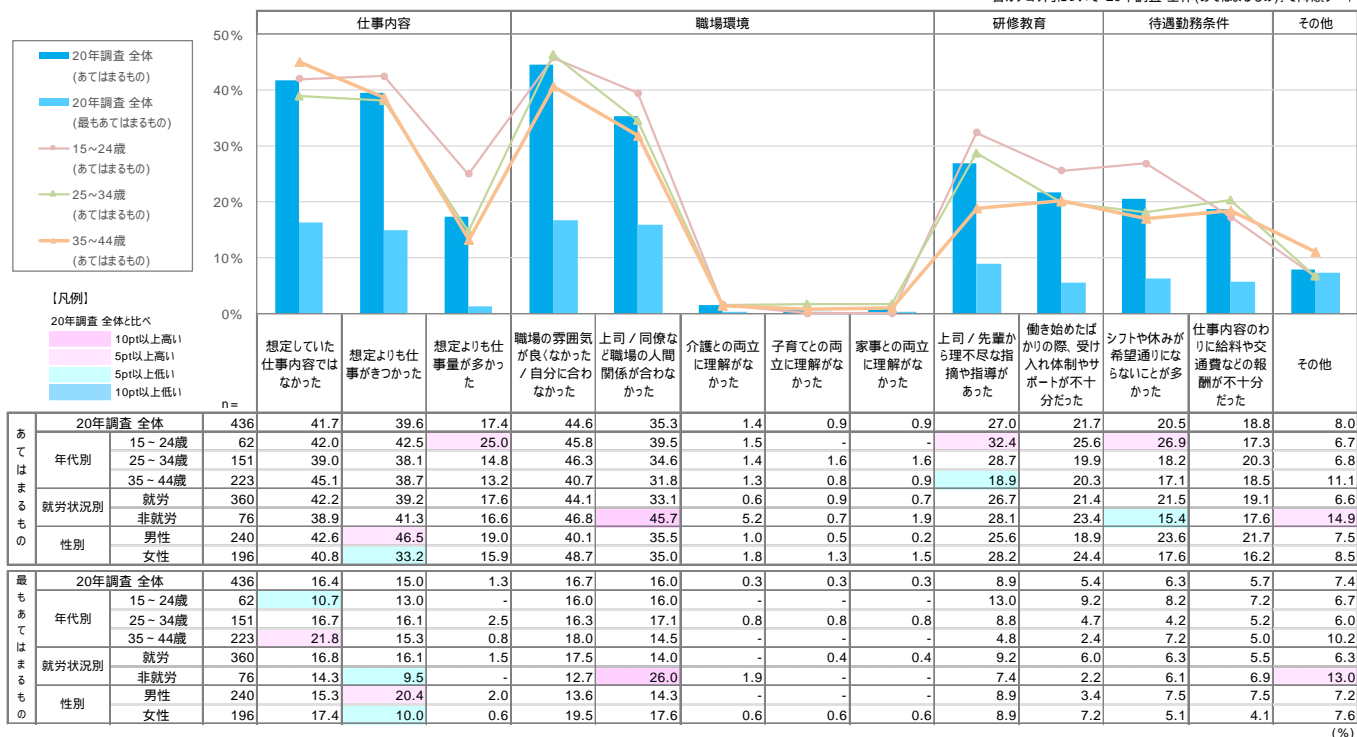


早期離職要因：あてはまるものすべて（複数回答）／最もあてはまるもの（単一回答）

ベース：今までパート・アルバイトを早期離職した経験がある

- 全体で「あてはまるもの」をみると、「職場の雰囲気が良くなかった／自分に合わなかった」「想定していた仕事内容ではなかった」「想定よりも仕事が多かった」が4割前後と特に高い。
- 年代別でみると、15～24歳で「上司／先輩から理不尽な指摘や指導があった」「シフトや休みが希望通りにならないことが多かった」「想定よりも仕事量が多かった」が全体よりも高め。

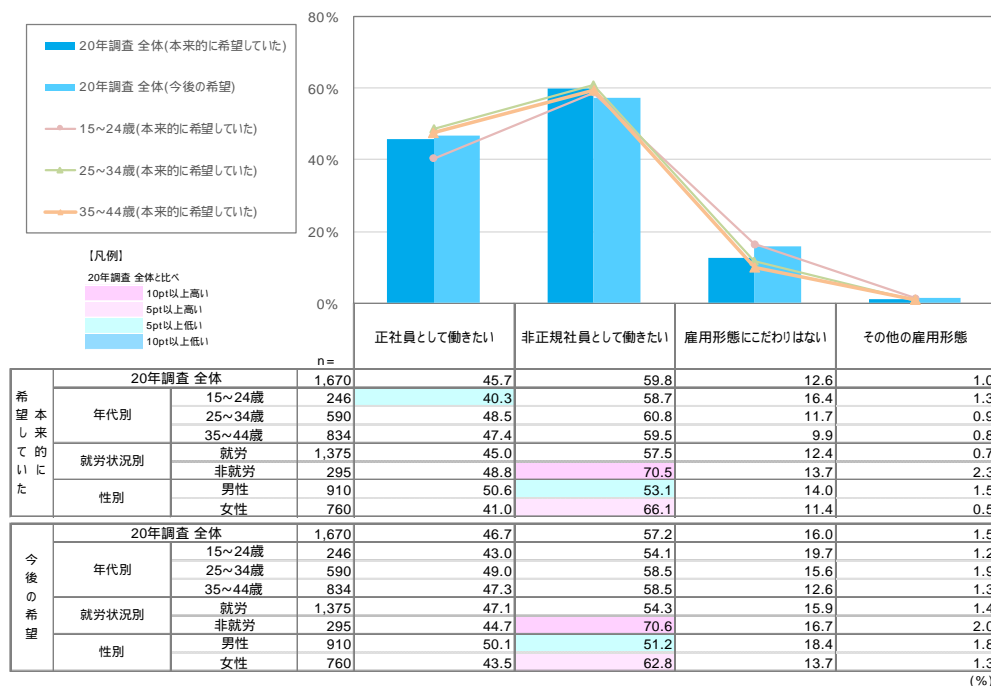
各カテゴリ内において「20年調査 全体(あてはまるもの)」で降順ソート



（7）今後の意向

今現在、本来的に希望していた雇用形態／今後希望する雇用形態（複数回答）

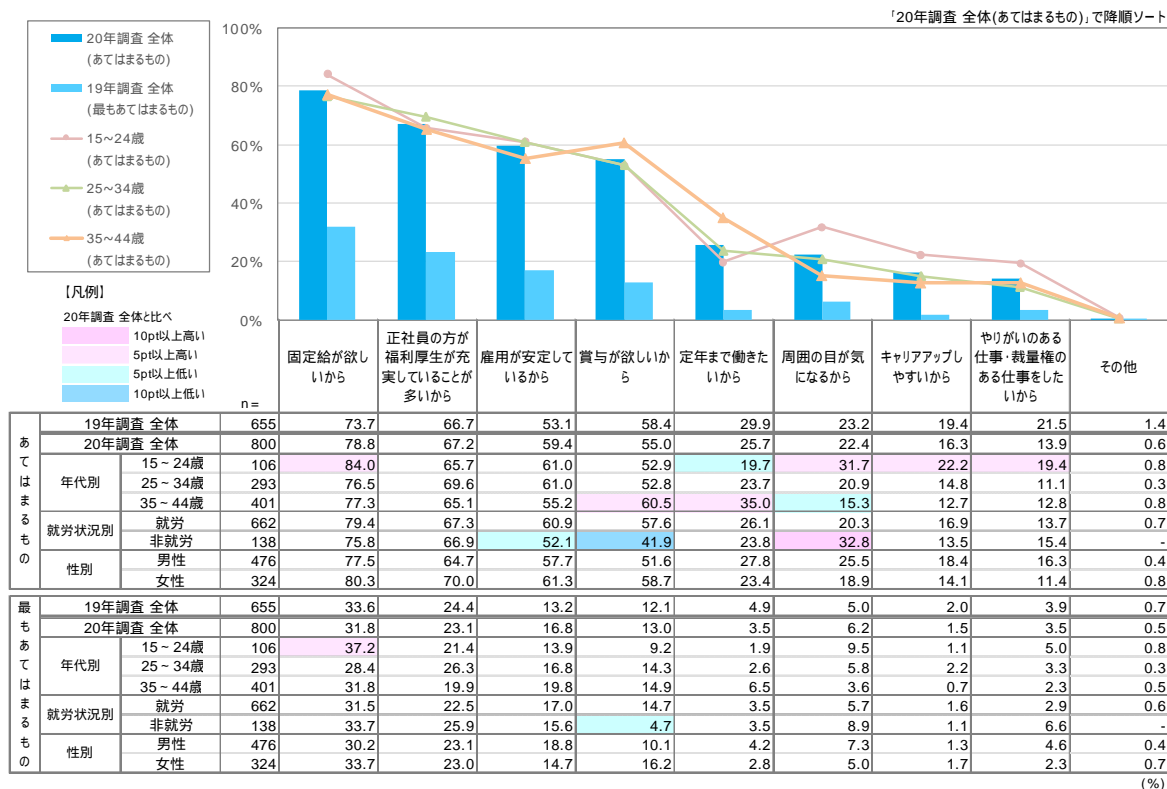
- 全体で「今現在、本来的に希望していた雇用形態」、「今後希望する雇用形態」のいずれも、「非正規社員として働きたい」が約6割、「正社員として働きたい」が4割台半ば。
- 非就労者と女性で「非正規社員として働きたい」が全体よりも高め。



正社員意向有りの理由：あてはまるものすべて（複数回答）／最もあてはまるもの（単一回答）

ベース：今後正社員意向あり

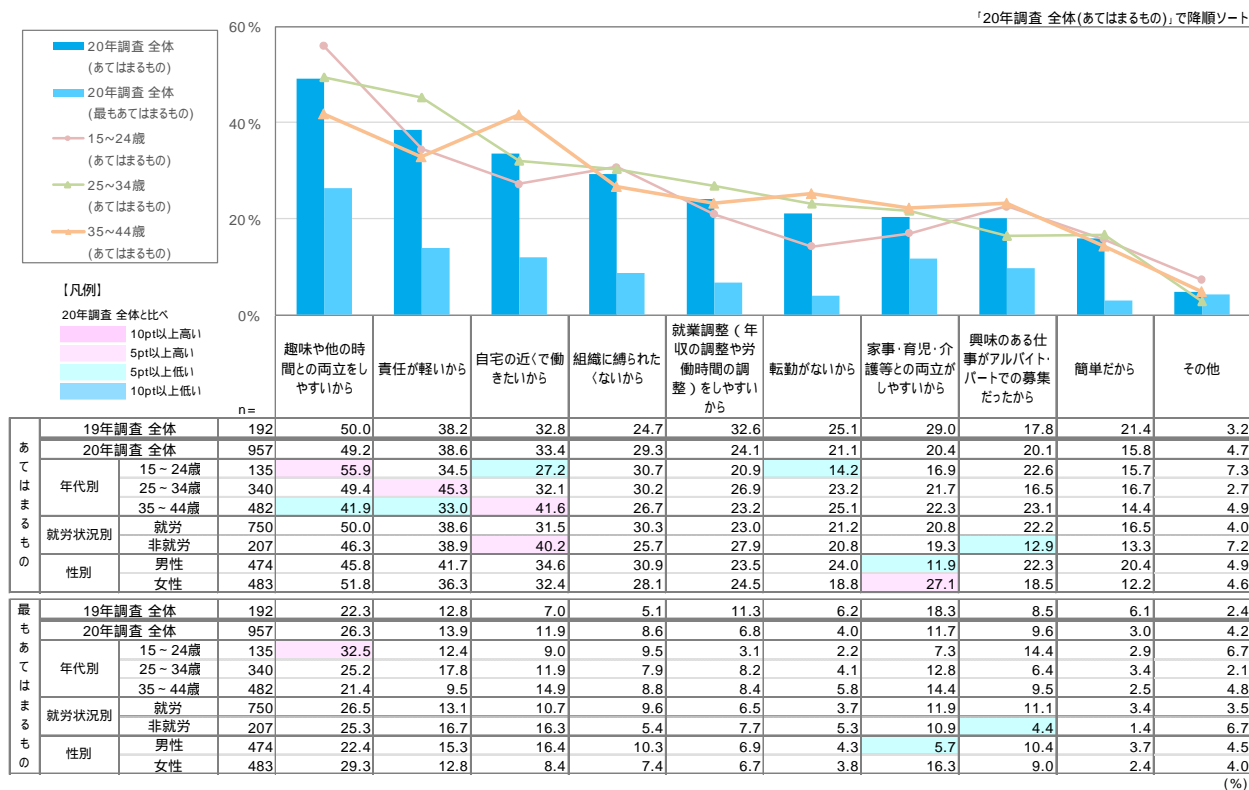
- 全体で「あてはまるもの」をみると、「固定給が欲しいから」「正社員の方が福利厚生が充実していることが多いから」「雇用が安定しているから」「賞与が欲しいから」が特に高い。
- 年代別でみると、15～24歳で「固定給が欲しいから」、35～44歳で「賞与が欲しいから」が全体よりもやや高め。



非正規社員意向有りの理由：あてはまるものすべて（複数回答）／最もあてはまるもの（単一回答）

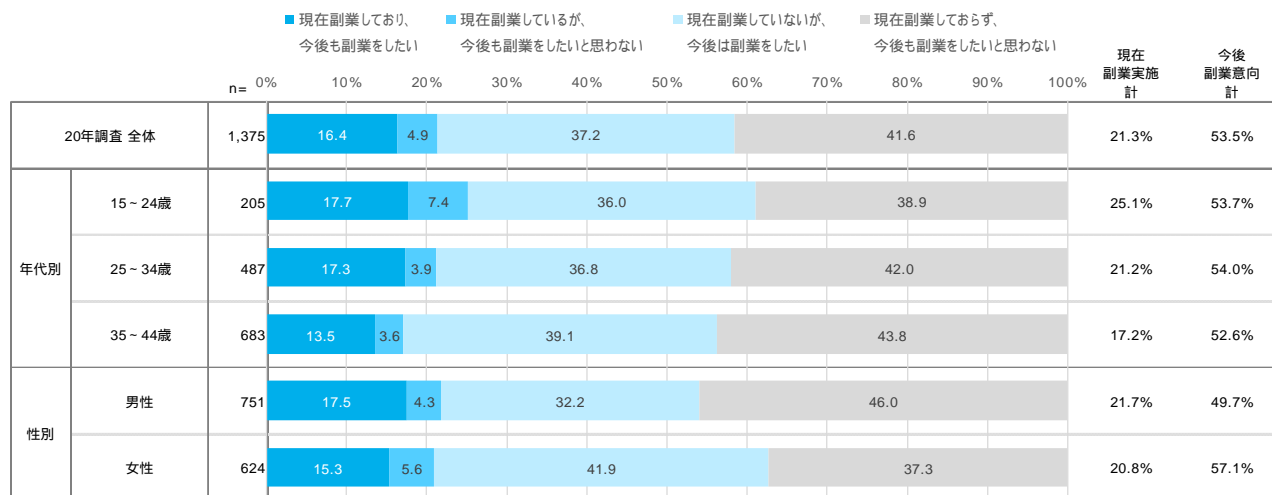
ベース：今後非正規社員意向あり

- ・全体で【あてはまるもの】をみると、「趣味や他の時間との両立をしやすいから」「責任が軽いから」「自宅の近くで働きたいから」などが特に高い。
- ・年代別でみると、「趣味や他の時間との両立をしやすいから」は若年層ほど、「自宅の近くで働きたいから」は高年層ほど比率が高まる。



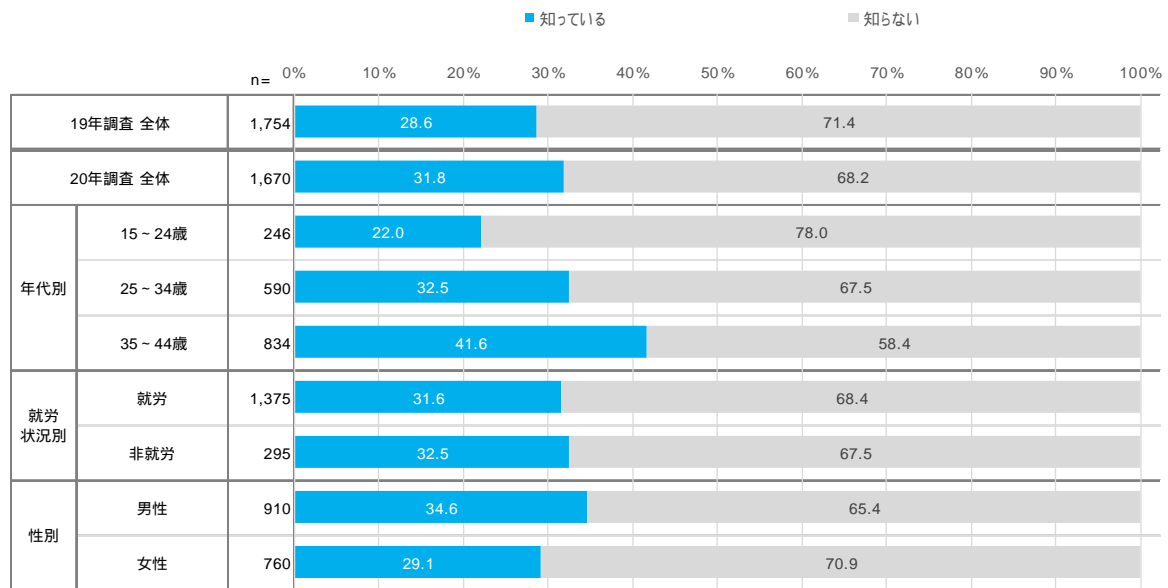
副業実施、意向有無（複数回答） ベース：現在の職業がパート・アルバイト

- ・全体では、【現在実施・計】は約2割、【今後副業意向・計】は5割強。
- ・年代別でみると、【現在実施・計】は若年層ほど高いが、【今後副業意向・計】は年代による差はほとんどない。



氷河期支援認知（単一回答）

- ・全体では、氷河期支援の認知者は3割強。
- ・年代別でみると、高年層ほど認知者の比率が高まる。



ウェイトバック集計について

【スクリーニング調査】

スクリーニングアンケート回答者の構成比（性年齢）を、市場構成比に近づけるために、『総務省・労働力調査』を基に、以下の通りウェイトバック集計を実施した。

2020年労働力調査（5月分データ）より、労働力人口（労働者）を集計

	男性			女性		
（万人）	15-24歳	25-34歳	35-44歳	15-24歳	25-34歳	35-44歳
3,114	307	625	770	296	512	604

構成比を算出

	男性			女性		
TOTAL	15-24歳	25-34歳	35-44歳	15-24歳	25-34歳	35-44歳
	9.9%	20.1%	24.7%	9.5%	16.4%	19.4%

スクリーニングアンケート回答者の構成比を、 の構成比に合わせ集計を実施

ウェイトバック前の回答者数

	男性			女性		
TOTAL	15-24歳	25-34歳	35-44歳	15-24歳	25-34歳	35-44歳
9,229	135	771	1,573	570	2,434	3,746

ウェイトバック後の回答者数

	男性			女性		
TOTAL	15-24歳	25-34歳	35-44歳	15-24歳	25-34歳	35-44歳
9,229	910	1,852	2,282	877	1,517	1,790

【本調査】

本調査回答者の構成比を、スクリーニング調査結果から算出した市場構成比に近づけるために、以下の通りウェイトバック集計を実施した。

労働力調査（2019年平均速報データ）より

「パート・アルバイト及びその希望者」の年齢階級別人口構成比を算出

	男性			女性		
（万人）	15-24歳	25-34歳	35-44歳	15-24歳	25-34歳	35-44歳
191	27	39	27	32	40	26

<https://www.stat.go.jp/data/roudou/sokuhou/nen/dt/pdf/index1.pdf>

表17 年齢階級別「パート・アルバイト及びその希望者」数の推移、「2019年結果」の人口を使用

構成比を算出

	男性			女性		
TOTAL	15-24歳	25-34歳	35-44歳	15-24歳	25-34歳	35-44歳
	14.1%	20.4%	14.1%	16.8%	20.9%	13.6%

本調査回答者の構成比を、 の構成比に合わせ集計を実施

ウェイトバック前の回答者数

	男性			女性		
TOTAL	15-24歳	25-34歳	35-44歳	15-24歳	25-34歳	35-44歳
1,670	97	341	472	149	249	362

ウェイトバック後の回答者数

	男性			女性		
TOTAL	15-24歳	25-34歳	35-44歳	15-24歳	25-34歳	35-44歳
1,670	236	341	236	280	350	227